

令和元年度

保健所年報

(平成30年度実績)

三重県松阪保健所

〒515-0011

松阪市高町138

TEL 0598-50-0527

FAX 0598-50-0621

Eメール mhoken@pref.mie.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/mhoken/hp/>

目 次

第1編 管内概況

1	管内略図	1
2	管内概要	1
3	松阪保健所	
(1)	松阪保健所 所在地及び連絡先	1
(2)	松阪保健所へのアクセス	2
4	組織及び事務分掌	3
5	管内の指標	
(1)	総人口・世帯数・面積の状況	4
(2)	年齢3階級別人口	4
(3)	人口の推移	4
(4)	人口動態調査	5

第2編 三重県民力ビジョン・第二次行動計画における事業概要

I	政策展開の基本方向「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～	
政策 1	防災・減災	
施策 112	防災・減災対策を進める体制づくり	
基本事業 11204	災害医療体制の整備	8
政策 2	命を守る	
施策 121	地域医療提供体制の確保	
基本事業 12102	医療分野の人材確保	10
基本事業 12103	救急医療等の確保	12
基本事業 12104	医療安全体制の確保	13
施策 122	介護の基盤整備と人材の育成・確保	
基本事業 12201	介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上	15
基本事業 12203	介護基盤の整備促進	16
施策 124	こころと身体健康対策の推進	
基本事業 12401	健康づくり・生活習慣病予防活動の推進	17
基本事業 12403	こころの健康づくりの推進	22
基本事業 12404	難病対策の推進	25
政策 3	共生の福祉社会	
施策 131	障がい者の自立と共生	
基本事業 13101	障がい者の地域移行の推進と福祉サービスの充実	29
基本事業 13104	障がい者の相談支援体制の整備	29
基本事業 13105	精神障がい者の保健医療の確保	31

施策	132	支え合いの福祉社会づくり	
基本事業	13203	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	34

政策 4 暮らしの安全を守る

施策	144	薬物乱用防止と動物愛護の推進等	
基本事業	14401	薬物乱用防止対策の推進	35
基本事業	14402	人と動物との共生環境づくり	37
基本事業	14403	医薬品等の安全な製造・供給の確保	39
基本事業	14404	生活衛生営業の衛生確保	41
施策	145	食の安全・安心の確保	
基本事業	14501	食の安全・安心の確保	42
施策	146	感染症の予防と拡大防止対策の推進	
基本事業	14601	感染予防のための普及啓発の推進	44
基本事業	14602	感染症危機管理体制の整備	46
基本事業	14603	感染症対策のための相談・検査の推進	47

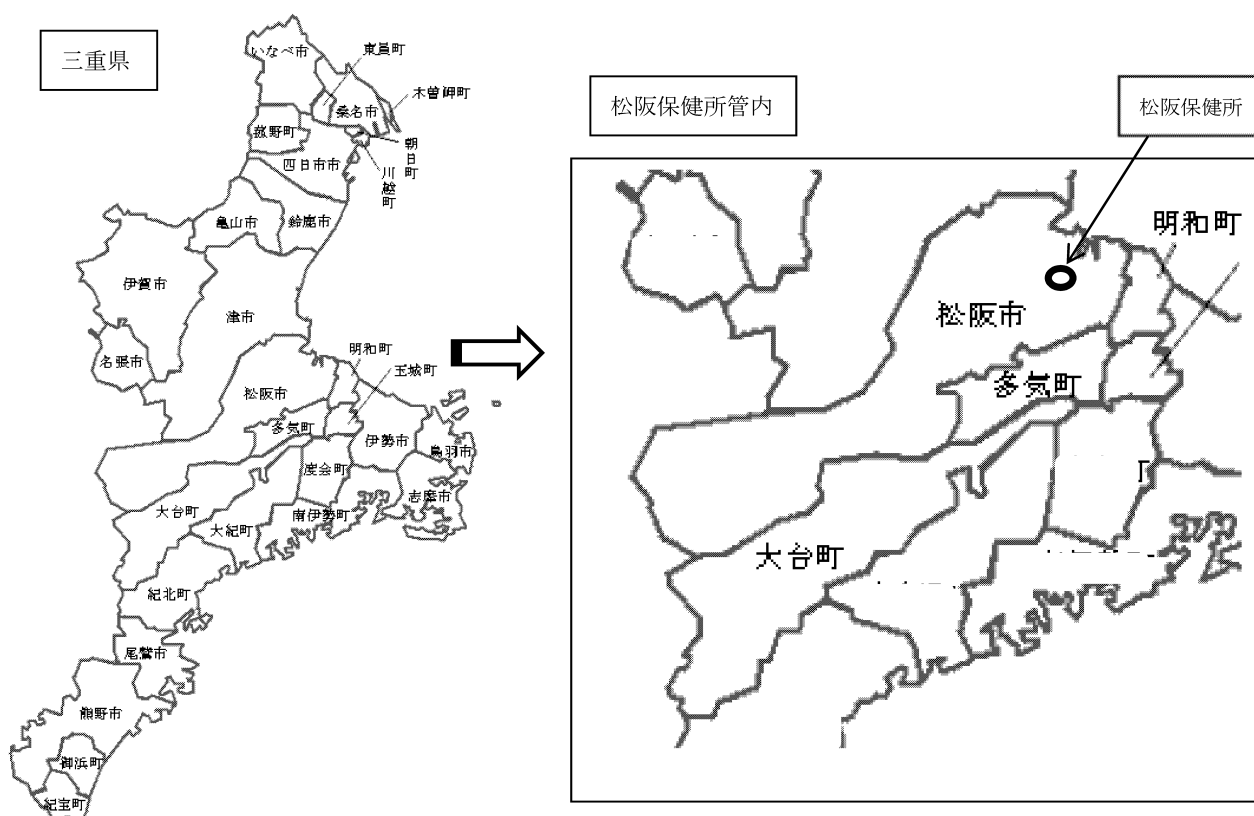
II 政策展開の基本方向「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

政策 3 希望がかなう少子化対策の推進

施策	232	結婚・妊娠・出産の支援	
基本事業	23202	不妊に悩む家族への支援	51
基本事業	23203	切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実	51

第1編 管内概況

1 管内略図



2 管内概要

松阪保健所の管内市町は、松阪市、多気町、明和町、大台町の1市3町で構成され、管内面積は1,130.54平方km（平成30年10月1日現在）で全県面積の19.6%を占め、人口は207,065人（平成30年10月1日現在）と、全県人口の約11.6%となっています。

また、世帯数は82,229世帯で1世帯あたり人口は2.52人（平成30年10月1日現在）、県総人口の約1割強がこの地域に居住していますが、山間部（松阪市の旧飯南町・旧飯高町、旧大台町、旧宮川村、旧勢和村）では、人口の減少による過疎化が進んでいます。

（過疎地域：松阪市の飯南町地域・飯高町地域・大台町の旧宮川村地域、準過疎地域：多気町の旧勢和村地域）

加えて高齢化の進展も著しく、管内の老年人口割合は県平均の29.0%より1.4%高い30.4%（平成30年10月1日現在）となっています。

道路網は、北勢地域と中南勢地域を結ぶ国道23号、中南勢地域と紀州地域を結ぶ国道42号、自動車専用道路としては、北勢地域から中南勢地域を結ぶ伊勢自動車道が整備され、紀州地域に向かう紀勢自動車道も整備が進められています。鉄道は、JR紀勢線、参宮線、名松線及び近鉄の大阪線、山田線が走っています。

管内には、松阪市内の3総合病院（市民、中央、済生会）に加え、一般診療所も日常生活圏内にほぼ充足されており、救急医療体制も整っていることから、医療体制は、山間部の一部地域を除き、概ね良好な状況にあります。

3 松阪保健所

(1) 松阪保健所 所在地及び連絡先

所在地：〒515-0011 松阪市高町138

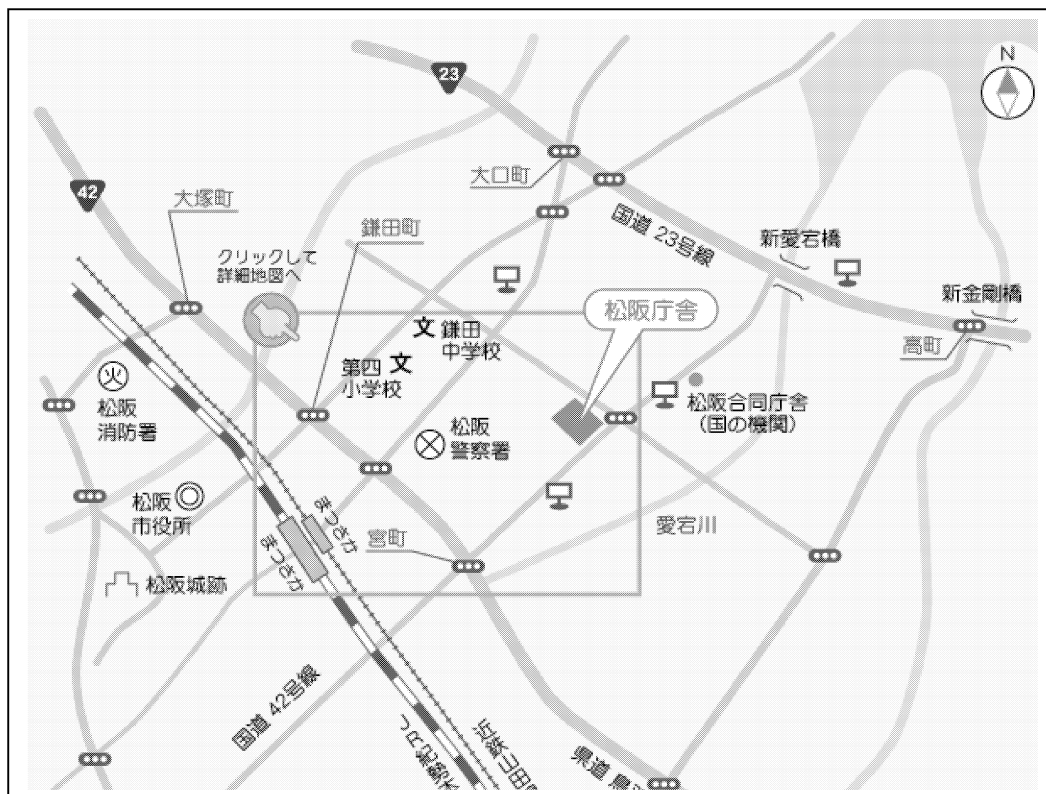
TEL：0598-50-0527（代表） FAX：0598-50-0621

E-mail：mhoken@pref.mie.lg.jp

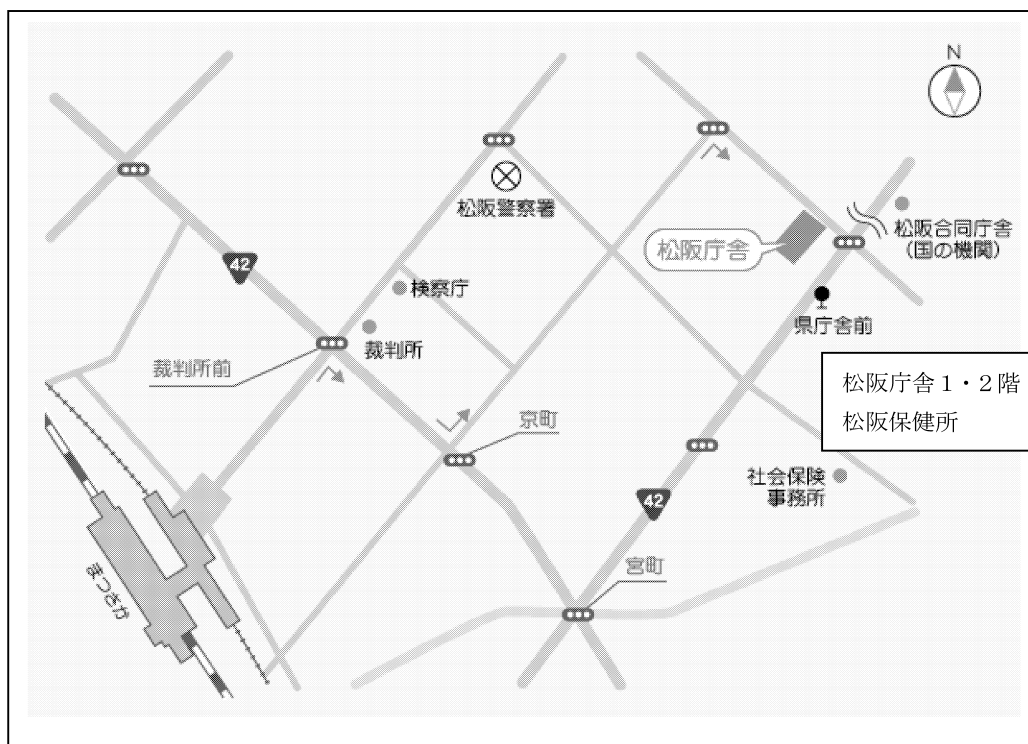
URL：http://www.pref.mie.lg.jp/mhoken/hp/

(2) 松阪保健所へのアクセス

ア 位置図

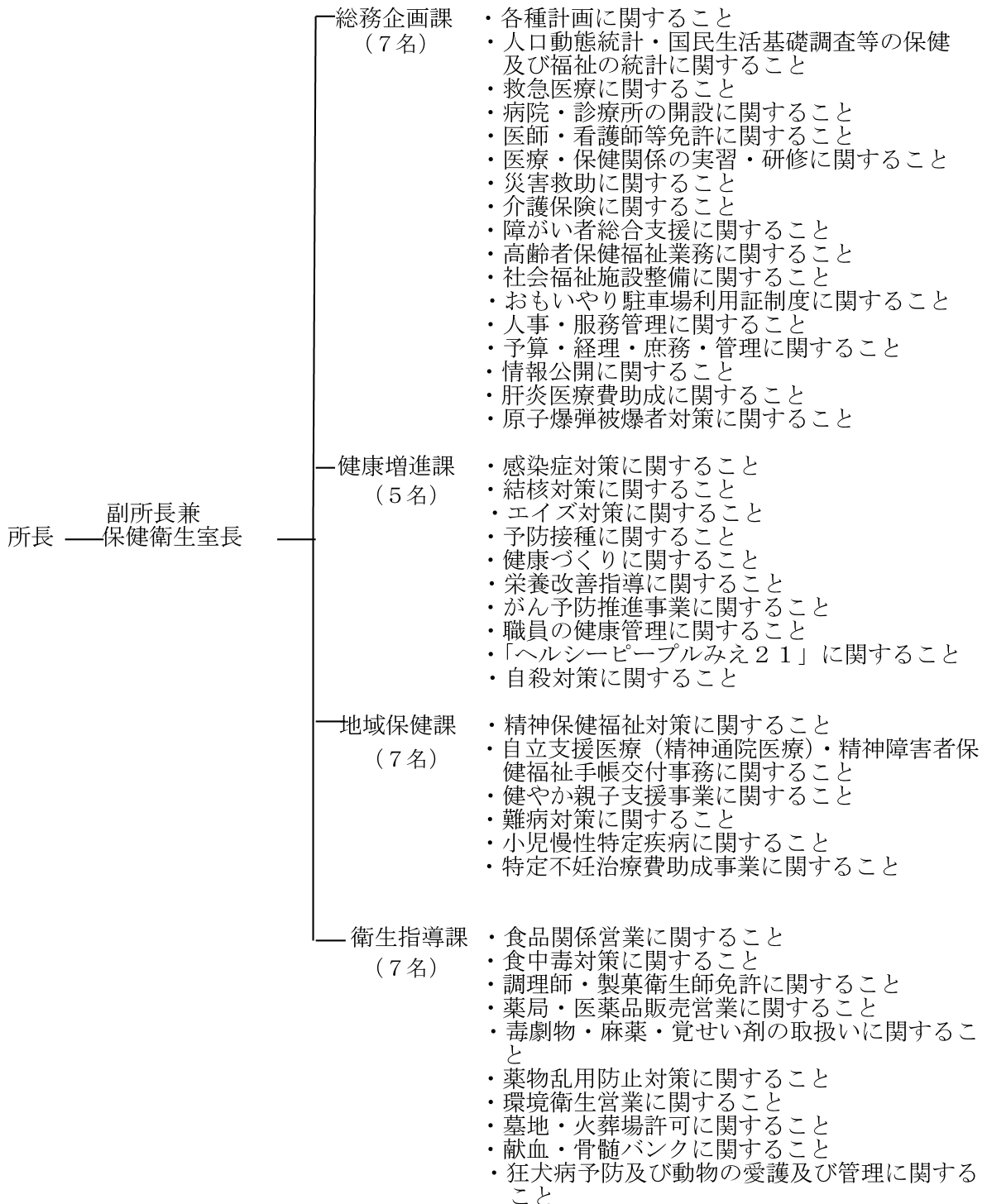


イ 詳細位置図



- 交通
- 近鉄：山田線「松阪駅」徒歩15分
 - 自動車：津方面から 国道23号線「大口町」交差点を右折し、2つめの信号を左折。
2つ目の信号手前右側。約1分
国道23号線「新愛宕橋」手前で松阪市外方面（左）へ。
4つめの信号を右折、すぐ左側。約1分
 - 伊勢方面から 国道23号線「新愛宕橋」で松阪市外方面（左）へ。
3つめの信号を右折、すぐ左側。約1分

4 組織及び事務分掌



5 管内の指標

(1) 総人口・世帯数・面積の状況

(平成30年10月1日現在)

区分 市町名	人口 / 人			世帯数 / 世帯	面積 / km ²
	総数	男	女		
松阪市計	160,907	77,218	83,689	65,090	623.58
多気町	14,450	7,037	7,413	5,269	103.06
明和町	22,621	10,754	11,867	8,095	41.04
大台町	9,087	4,299	4,788	3,775	362.86
郡部計	46,158	22,090	24,068	17,139	506.96
管内計	207,065	99,308	107,757	82,229	1,130.54
県計	1,790,376	873,224	917,152	737,760	5,774.41

* 人口は三重県月別人口調査（三重県戦略企画部統計課）による。

(2) 年齢3階級別人口

(平成30年10月1日現在)

区分 市町名	人口	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		人口	%	人口	%	人口	%
松阪市計	160,907	20,326	12.6	92,127	57.3	47,459	29.5
多気町	14,450	1,845	12.8	7,737	53.5	4,734	32.8
明和町	22,621	2,968	13.1	12,651	55.9	6,850	30.3
大台町	9,087	889	9.8	4,388	48.3	3,802	41.8
郡部計	46,158	5,702	12.4	24,776	53.7	15,386	33.3
管内計	207,065	26,028	12.6	116,903	56.5	62,845	30.4
県計	1,790,376	221,820	12.4	1,028,740	57.5	520,099	29.0

* 総数は年齢不詳を含んでおり、年齢区分別人口の割合は年齢不詳を含む総数を分母として算出しているため合計しても100%にはならない。

* 資料：三重県戦略企画部統計課

(3) 人口の推移

(人)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
松阪市	118,725	122,449	123,727	168,973	168,017	163,863
嬉野町	17,611	17,903	17,884	—	—	—
三雲町	9,941	10,336	11,158	—	—	—
飯南町	6,891	6,528	6,180	—	—	—
飯高町	6,457	5,915	5,555	—	—	—
多気町	10,106	10,226	10,868	10,647	15,438	14,878
勢和村	5,585	5,418	5,281	5,146	—	—
明和町	21,484	21,853	22,300	22,618	22,833	22,586
大台町	7,770	7,573	7,332	7,244	10,416	9,557
宮川村	4,374	4,185	4,067	3,855	—	—

※国勢調査の集計結果（10月1日）

(4) 人口動態調査 (H29. 1. 1～ H. 29. 12. 31)

人口動態総覧 (数)

平成29年

保健所 市町村	出生数			死亡数			(再掲)				自然 増加数	死産数			周産期死亡数			婚姻 件数	離婚 件数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			新生 児死 亡数		総数	自然	人工	総数	妊 娠 満 22 週 以 後 の 死 産	早 期 新 生 児 死 亡		
							総数	男	女										
三重県	12,663	6,490	6,173	20,531	10,468	10,063	18	8	10	10	△ 7,868	268	128	140	45	36	9	7,937	2,784
市部 計	11,111	5,694	5,417	17,703	9,023	8,680	17	8	9	10	△ 6,592	237	117	120	41	32	9	7,123	2,484
郡部 計	1,552	796	756	2,828	1,445	1,383	1	-	1	-	△ 1,276	31	11	20	4	4	-	814	300
松阪保健所	889	770	119	2,552	1,310	1,242	2	1	1	1	△ 1,029	30	18	12	6	5	1	888	330
松阪市	1,161	598	563	1,906	992	914	2	1	1	1	△ 745	25	16	9	5	4	1	728	270
多気郡 計	362	172	190	646	318	328	0	0	0	0	△ 284	5	2	3	1	1	0	160	60
多気町	96	41	55	235	119	116	0	-	-	-	△ 139	2	1	1	0	-	-	40	14
明和町	211	102	109	245	122	123	0	-	-	-	△ 34	3	1	2	1	1	-	81	34
大台町	55	29	26	166	77	89	0	-	-	-	△ 111	0	-	-	0	-	-	39	12

人口動態総覧 (率)

平成29年

保健所 市町村	出生率	死亡率	乳児 死亡率	新生児 死亡率	自然 増加率	死産率	自然 死産率	人工 死産率	周産 期死 亡率	妊 娠 満 22 週 以 後 の 死 産 率	早期 新生 児 死 亡 率	婚姻	離婚	合計 特殊 出生 率
	(人口 千対)	(人口 千対)	(出生 千対)	(出生 千対)	(人口 千対)	(出産 千対)	(出産 千対)	(出産 千対)	(出産 千対)	(出産 千対)	(出生 千対)	(人口 千対)	(人口 千対)	
三重県	7.2	11.6	1.4	0.8	△ 4.5	20.7	9.9	10.8	3.5	2.8	0.7	4.5	1.58	1.49
市部 計	7.1	11.2	1.5	0.9	△ 4.2	20.9	10.3	10.6	3.7	2.9	0.8	4.5	1.58	1.42
郡部 計	7.0	12.7	0.6	-	△ 5.7	19.6	6.9	12.6	2.6	2.6	-	3.6	1.34	1.59
松阪保健所	7.3	12.3	1.3	0.7	△ 4.9	19.3	11.6	7.7	3.9	3.3	0.7	4.3	1.59	1.52
松阪市	7.2	11.8	1.7	0.9	△ 4.6	21.1	13.5	7.6	4.3	3.4	0.9	4.5	1.67	1.45
多気郡 計	7.8	13.9	-	-	△ 6.1	13.6	5.4	8.2	2.8	2.8	-	3.4	1.29	1.81
多気町	6.6	16.1	-	-	△ 9.5	20.4	10.2	10.2	-	-	-	2.7	0.96	1.47
明和町	9.3	10.8	-	-	△ 1.5	14.0	4.7	9.3	4.7	4.7	-	3.6	1.51	2.02
大台町	5.9	17.9	-	-	△ 12.0	-	-	-	-	-	-	4.2	1.30	1.80

- 1) 出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率 …… 件数/人口×1, 000 総人口は平成29年10月1日現在の報値を用いた。
- 2) 死産率 …… 死産数/(出生数+死産数)×1, 000
- 3) 乳児死亡率・新生児死亡率・早期新生児死亡率 …… 乳児・新生児・早期新生児死亡数/出生数×1, 000
- 4) 周産期死亡率 …… (妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数)/(出生数+早期新生児死亡数)×1, 000
- 5) 妊娠満22週以後の死産率 …… 妊娠満22週以後の死産数/(出生数+妊娠満22週以後の死産数)×1, 000
- 6) 合計特殊出生率 …… {母の年齢別出生数/同年齢の女子人口}の15歳から49歳までの合計

※1 総合計は、平成29年人口動態調査(厚生労働省大臣官房統計情報部)による。
 ※2 保健所・市町別の数値は、総人口(平成29年10月1日現在)を用いて算出している。

死因（死因簡単分類）・市町別

平成29年（H29.1.1～H29.12.31）

	三重県 合計	市部計	郡部計	松阪保健 所計	松阪市	多気郡 計	多気町	明和町	大台町
計	20,531	17,703	2,828	2,552	1,906	646	235	245	166
感染症及び寄生虫症	346	291	55	38	29	9	4	3	2
腸管感染症	43	37	6	2	1	1	1	0	0
結核	37	31	6	3	3	0	0	0	0
呼吸器結核	35	29	6	3	3	0	0	0	0
その他の結核	2	2	0	0	0	0	0	0	0
敗血症	114	97	17	15	12	3	1	1	1
ウイルス肝炎	47	41	6	4	3	1	1	0	0
B型ウイルス肝炎	5	4	1	0	0	0	0	0	0
C型ウイルス肝炎	37	33	4	3	2	1	1	0	0
その他のウイルス肝炎	5	4	1	1	1	0	0	0	0
ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
その他の感染症及び寄生虫症	104	84	20	14	10	4	1	2	1
新生物	5,444	4,713	731	692	515	177	55	69	53
悪性新生物	5,209	4,504	705	662	492	170	51	69	50
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	91	75	16	9	7	2	0	1	1
食道の悪性新生物	161	142	19	19	17	2	0	0	2
胃の悪性新生物	634	547	87	81	57	24	8	6	10
結腸の悪性新生物	509	432	77	71	51	20	6	10	4
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	226	198	28	27	21	6	1	2	3
肝及び肝内胆管の悪性新生物	314	287	27	28	22	6	2	3	1
胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	249	209	40	33	24	9	1	4	4
膵の悪性新生物	538	472	66	67	56	11	4	6	1
喉頭の悪性新生物	9	7	2	1	0	1	1	0	0
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1,033	886	147	149	111	38	11	15	12
皮膚の悪性新生物	32	30	2	1	1	0	0	0	0
乳房の悪性新生物	189	168	21	33	22	11	3	5	3
子宮の悪性新生物	94	84	10	8	8	0	0	0	0
卵巣の悪性新生物	61	54	7	11	9	2	2	0	0
前立腺の悪性新生物	181	157	24	27	18	9	3	4	2
膀胱の悪性新生物	116	97	19	9	7	2	1	1	0
中枢神経系の悪性新生物	39	31	8	1	1	0	0	0	0
悪性リンパ腫	199	166	33	26	17	9	4	4	1
白血病	104	92	12	7	4	3	2	1	0
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	58	53	5	6	4	2	0	2	0
その他の悪性新生物	372	317	55	48	35	13	2	5	6
その他の新生物	235	209	26	30	23	7	4	0	3
中枢神経系のその他の新生物	42	36	6	7	5	2	1	0	1
中枢神経系を除くその他の新生物	193	173	20	23	18	5	3	0	2
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	66	51	15	6	1	5	1	0	4
貧血	32	25	7	3	1	2	1	0	1
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	34	26	8	3	0	3	0	0	3
内分泌、栄養及び代謝疾患	321	265	56	36	25	11	4	3	4
糖尿病	190	161	29	14	10	4	3	0	1
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	131	104	27	22	15	7	1	3	3
精神及び行動の障害	382	328	54	62	43	19	9	5	5
血管性及び詳細不明の認知症	357	307	50	58	40	18	8	5	5
その他の精神及び行動の障害	25	21	4	4	3	1	1	0	0
神経系の疾患	601	530	71	76	60	16	7	8	1
髄膜炎	6	6	0	0	0	0	0	0	0
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	34	29	5	4	4	0	0	0	0
パーキンソン病	153	136	17	15	12	3	1	2	0
アルツハイマー病	197	176	21	32	27	5	3	2	0
その他の神経系の疾患	211	183	28	25	17	8	3	4	1
耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器系の疾患	5,398	4,639	759	679	504	175	80	66	29
高血圧性疾患	132	117	15	23	18	5	3	1	1
高血圧性心疾患及び心腎疾患	65	60	5		11	2	2	0	0
その他の高血圧性疾患	67	57	10		7	3	1	1	1
心疾患（高血圧性を除く）	3,166	2,714	452	393	293	100	47	39	14
慢性リウマチ性心疾患	27	26	1	6	5	1	0	1	0
急性心筋梗塞	703	592	111	82	62	20	8	10	2
その他の虚血性心疾患	495	430	65	31	25	6	4	2	0
慢性非リウマチ性心内膜疾患	182	160	22	28	22	6	1	3	2
心筋症	50	46	4	5	4	1	1	0	0
不整脈及び伝導障害	560	475	85	93	74	19	10	4	5
心不全	1,081	928	153	142	99	43	23	16	4
その他の心疾患	68	57	11	6	2	4	0	3	1
脳血管疾患	1,663	1,447	216	214	154	60	25	23	12
くも膜下出血	160	132	28	22	18	4	3	0	1
脳内出血	471	408	63	67	47	20	11	7	2
脳梗塞	986	870	116	120	87	33	10	14	9
その他の脳血管疾患	46	37	9	5	2	3	1	2	0

	三重県 合計	市部計	郡部計	松阪保健 所計	松阪市	多気郡 計	多気町	明和町	大台町
大動脈瘤及び解離	301	245	56	36	29	7	3	2	2
その他の循環器系の疾患	136	116	20	13	10	3	2	1	0
呼吸器系の疾患	2,902	2,510	392	355	258	97	29	43	25
インフルエンザ	28	22	6	4	2	2	0	2	0
肺炎	1,487	1,296	191	175	124	51	14	22	15
急性気管支炎	4	4	0	0	0	0	0	0	0
慢性閉塞性肺疾患	320	271	49	25	18	7	3	2	2
喘息	19	13	6	4	2	2	1	0	1
その他の呼吸器系の疾患	1,044	904	140	147	112	35	11	17	7
消化器系の疾患	739	643	96	94	75	19	5	7	7
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	42	35	7	3	2	1	0	1	0
ヘルニア及び腸閉塞	90	80	10	16	14	2	0	0	2
肝疾患	219	196	23	26	22	4	1	2	1
肝硬変(アルコール性を除く)	100	92	8	10	10	0	0	0	0
その他の肝疾患	119	104	15	16	12	4	1	2	1
その他の消化器系の疾患	388	332	56	49	37	12	4	4	4
皮膚及び皮下組織の疾患	52	43	9	8	5	3	1	1	1
筋骨格系及び結合組織の疾患	143	123	20	12	7	5	2	0	3
腎尿路生殖器系の疾患	639	542	97	78	61	17	8	7	2
糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	75	62	13	7	7	0	0	0	0
腎不全	407	346	61	50	39	11	6	4	1
急性腎不全	44	41	3	3	2	1	1	0	0
慢性腎不全	272	225	47	36	30	6	3	2	1
詳細不明の腎不全	91	80	11	11	7	4	2	2	0
その他の腎尿路生殖器系の疾患	157	134	23	21	15	6	2	3	1
妊娠、分娩及び産じよく	1	1	0	0	0	0	0	0	0
周産期に発生した病態	8	8	0	1	1	0	0	0	0
妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	5	5	0	1	1	0	0	0	0
周産期に特異な感染症	2	2	0	0	0	0	0	0	0
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の周産期に発生した病態	1	1	0	0	0	0	0	0	0
先天奇形、変形及び染色体異常	22	20	2	1	0	1	1	0	0
神経系の先天奇形	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器系の先天奇形	8	7	1	1	0	1	1	0	0
心臓の先天奇形	6	5	1	1	0	1	1	0	0
その他の循環器系の先天奇形	2	2	0	0	0	0	0	0	0
消化器系の先天奇形	1	1	0	0	0	0	0	0	0
その他の先天奇形及び変形	9	8	1	0	0	0	0	0	0
染色体異常、他に分類されないもの	4	4	0	0	0	0	0	0	0
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,348	2,012	336	267	200	67	22	25	20
老衰	2,064	1,765	299	241	180	61	21	24	16
乳幼児突然死症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	284	247	37	26	20	6	1	1	4
傷病及び死亡の外因	1,119	984	135	147	122	25	7	8	10
不慮の事故	662	576	86	88	70	18	4	5	9
交通事故	106	94	12	12	9	3	2	1	0
転倒・転落	161	139	22	26	18	8	1	1	6
不慮の溺死及び溺水	122	105	17	17	15	2	0	1	1
不慮の窒息	148	131	17	23	19	4	1	2	1
煙、火及び火炎への曝露	5	3	2	0	0	0	0	0	0
有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	8	7	1	0	0	0	0	0	0
その他の不慮の事故	112	97	15	10	9	1	0	0	1
自殺	305	272	33	34	29	5	1	3	1
他殺	4	2	2	0	0	0	0	0	0
その他の外因	148	134	14	25	23	2	2	0	0

第2編 三重県民力ビジョン・第二次行動計画における事業概要

I 政策展開の基本方向「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

政策 1 防災・減災

施策	: 112 防災・減災対策を進める体制づくり
基本事業	: 11204 災害医療体制の整備 (主担当 総務企画課)

主な取組内容

・災害時の医療体制の整備のため、管内災害拠点病院との連携を図ります。また、災害直後から災害用医薬品等の供給が速やかに行われるよう、災害拠点薬局等の協力を得て、医療救護活動に必要な医薬品等の調達、分配を行います。

1 災害医療体制

(1) 災害拠点病院（三重県地域防災計画の指定による）

災害拠点病院は、大規模災害発生時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度診療、被災地からの重症患者の受け入れ及び広域搬送への対応、医療救護班の派遣、地域の医療機関への応急資材の貸し出しを担う病院として、三重県知事が指定している病院です。

施設名	所在地	電話番号	指定年月日
三重県厚生連 松阪中央総合病院	松阪市川井町字小望 102	0598-21-5252	平成 24 年 2 月 3 日
恩賜財団済生会 松阪総合病院	松阪市朝日町一区 15-6	0598-51-2626	平成 24 年 2 月 3 日
松阪市民病院	松阪市殿町 1550	0598-23-1515	平成 16 年 7 月 1 日

(2) 災害拠点薬局（災害拠点薬局等指定要領による）

災害拠点薬局とは、大規模災害発生時に支援薬剤師の受け入れ、医薬品の供給等の拠点となる薬局として、三重県知事が指定している薬局です。

事業所等名称	所在地	電話番号	指定年月日
センター薬局 市民病院前店	松阪市殿町 1580-1	0598-22-2356	平成 18 年 4 月 1 日

2 松阪地域災害医療対策協議会

大規模災害発生時に関係機関が連携して、迅速かつ適切な医療が提供できるよう、松阪地域の実情に即した災害医療体制の整備について、検討・協議し、その方向性（方針等）を打ち出すため、「松阪地域災害医療対策協議会（※）」を設置し、会議の開催及び情報伝達訓練等を実施しました。

内容	開催日	開催場所	議題等
第 1 回協議会	平成 30 年 7 月 19 日	松阪庁舎大会議室	①各機関連絡先及び災害時連絡手段の確認について ②平成 30 年度防災訓練等の取組予定について ③平成 30 年度末さあ課地域災害医療対策協議会訓練について ④三重県広域受援計画について

第2回協議会	平成31年2月8日	松阪庁舎大会議室	①平成30年度松阪地域災害医療対策協議会情報伝達等訓練結果について ②平成31年度松阪地域災害医療対策協議会について ③西日本豪雨被災地支援について
EMIS 入力訓練	平成30年9月6日~ 平成30年9月7日	各機関	北海道胆振東部地震発災のため中止
避難所運営ゲーム (HUG)	平成30年11月16日	松阪庁舎大会議室	各班に分かれて、避難所運営について検討 参加者46名
情報伝達訓練	平成31年1月17日	各機関	①EMIS 入力訓練 ②FAX (NTT、防災行政無線) 伝達訓練 ③衛星携帯電話通信訓練 ④災害医療コーディネーター指揮・対応・連絡調整訓練
クロノロ研修	平成31年2月8日	松阪庁舎大会議室	第2回協議会と同日開催 内陸直下型地震発生8時間後を想定し、記録係、連絡係に分かれての研修

※構成員は、松阪市民病院、松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院、三重ハートセンター、大台厚生病院、大台町報徳診療所、松阪厚生病院、南勢病院、松阪地区医師会、松阪地区歯科医師会、松阪地区薬剤師会、三重県看護協会松阪地区支部、松阪地区広域消防組合消防本部、紀勢地区広域消防組合、松阪警察署、大台警察署、松阪市、多気町、明和町、大台町、松阪地域防災総合事務所、松阪保健所の22機関となっています。

政策 2 命を守る

施策	: 121 地域医療提供体制の確保	
基本事業	: 12102 医療分野の人材確保	(主担当 総務企画課)

<p>主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者として従事しようとする学生に対して保健所実習指導を実施します。 ・医療従事者の各種免許の交付に関する事務を行います。

1 学生実習指導

地域の保健福祉関係の人材育成のための、実習生を受入れ指導を行いました。

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	学 校 名		学生数	グループ数	実習日数
看護学生	三重大学医学部 看護学科	地域診断学実習 公衆衛生看護学実習	4	1	6
	三重県立看護大学	公衆衛生看護学実習	10	3	0.5
			6	1	11.5
	鈴鹿医療科学大学	公衆衛生看護学実習	7	1	4.5
栄養士 管理士	鈴鹿医療科学大学		2	1	5
	名古屋女子大学		2		
	近畿大学		1		
獣医学 生	北海道大学		1	1	1
	岐阜大学		2		
	鳥取大学		1		
薬 学 生	名古屋市立大学		1	1	4
	鈴鹿医療科学大学		13		
	名城大学		1		
	金城学院大学		2		
	愛知学院大学		1		
	京都薬科大学		3		
	立命館大学		1		
	神戸学院大学		1		
神戸薬科大学		1			

2 各種免許交付事務

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

免許の種類	免許申請	書換	再交付	抹消
医師	14	5	1	
歯科医師	3	1		
薬剤師	27	7		1
診療放射線技師	3	6		
臨床検査技師	3	9		
理学療法士	26	10		
作業療法士	7	4		
保健師	13	19	1	
助産師	3	1		
看護師	87	65	7	1

准看護師	6	9	2	
視能訓練士		1		
管理栄養士	6	3	1	
栄養士	14	8	5	

施策	: 121 地域医療提供体制の確保	
基本事業	: 12103 救急医療等の確保	(主担当 総務企画課)

主な取組内容

- ・地域住民の救急医療を確保するため、松阪管内の一次救急医療体制、二次救急医療体制の整備を行います。
- ・救急告示病院との連携を図ります。

1 地域救急医療対策事業

松阪地域では、市の応急診療所、市から委託を受けた民間診療所の2診療所で一次救急体制を、市内3病院の病院群輪番制により二次救急体制をとっていますが、それを補足するため三重県広域災害・救急医療情報システムへの参加も呼び掛けています。

一次救急	松阪市休日・夜間応急診療所、松阪市歯科・休日応急診療所、 いおうじ応急クリニック
二次救急	病院群輪番制 (松阪市民病院、済生会松阪総合病院、松阪中央総合病院)
三重県広域災害・救急医療情報システム 管内計63医療施設参加(松阪広域:55、紀勢広域:8、H29.12.31現在3年毎更新)	

2 救急告示病院

救急告示病院は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を考慮して認定しています。

名称	住所	電話番号
済生会松阪総合病院	三重県松阪市朝日町1区15-6	0598-51-2626
松阪市民病院	三重県松阪市殿町1550	0598-23-1515
松阪中央総合病院	三重県松阪市川井町字小望102	0598-21-5252

施策 : 121 地域医療提供体制の確保
基本事業 : 12104 医療安全体制の確保 (主担当 総務企画課)

主な取組内容

- ・地域医療提供体制の整備をはかるため、日常の健康管理や適切な初期診療などを身近なところで提供する「かかりつけ医」の推進を図ります。
- ・管内における病院、診療所、施術所等の許認可、指導等を行います。

1 管内における医療施設等の状況

(1) 市町別医療施設数

(平成31年3月31日現在)

施設 市町名	総数	病院	医科 診療所	歯科 診療所	歯科 技工所	助産所	施術所	出張のみの 施術所
総数	482	10	182	95	45	1	118	22
松阪市	393	7	150	75	39		99	16
多気町	21		9	6	2		2	1
明和町	46	2	14	9	4	1	10	5
大台町	22	1	9	5			7	

※医科・歯科診療所は存続および休止中も含む。

(2) 医療機関の開設廃止状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

施設	開設許可件数	開設届件数	廃止件数
総数	4	18	23
病院			
医科診療所	3	6	11
歯科診療所	1		3
歯科技工所		1	4
助産所			
施術所		11 (内、出張のみ1)	5 (内、出張のみ3)

(3) 市町別病床数 (病院)

(平成31年3月31日現在)

種別 市町名	病床計	一般および 療養病床	結核病床	精神病床	感染病床
総数	2,809	2,012		795	2
松阪市	2,390	1,593		795	2
多気町					
明和町	309	309			
大台町	110	110			

(4) 市町別病床数 (医科診療所)

(平成31年3月31日現在)

種別 市町名	病床計	一般および 療養病床	結核病床	精神病床	感染病床
総 数	133	133			
松 阪 市	121	121			
多 気 町	9	9			
明 和 町	3	3			
大 台 町					

※存続の医科診療所病床。(休止中は除く)

※歯科診療所は病床なし。

(5) 病院別病床数

(平成31年3月31日現在)

種 別 病院名	病床計	一般および 療養病床	結核病床	精神病床	感染病床
総 数	2,809	2,112		795	2
松 阪 厚 生 病 院	780	190		590	
松 阪 市 民 病 院	328	326			2
済 生 会 松 阪 総 合 病 院	430	430			
松 阪 中 央 総 合 病 院	440	440			
桜 木 記 念 病 院	60	60			
南 勢 病 院	256	51		205	
済 生 会 明 和 病 院	264	264			
大 台 厚 生 病 院	110	110			
花 の 丘 病 院	96	96			
三 重 ハ ー ト セ ン タ ー	45	45			

(6) 医療関係従事者数

(平成28年12月31日現在3年毎更新)

区分 市町名	医師	歯科 医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准 看護師	歯科 衛生士	歯科 技工士
松阪市	450	121	318	59	35	2,168	606	237	72
多気町	9	10	7	10	0	45	31	27	5
明和町	39	11	29	13	1	215	65	30	4
大台町	14	4	20	8	0	91	44	10	1
計	512	146	374	90	36	2,519	746	304	82

施策 : 122 介護の基盤整備と人材の育成・確保
基本事業 : 12201 介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上
 (主担当 総務企画課)

主な取組内容

・介護保険事業の安定的な運営を支援するとともに、質の高いサービスが提供されるよう、介護従事者の人材育成と資質向上を図ります。

1 介護保険サービス提供基盤の整備状況

訪問介護・通所介護を始めとする各種の介護保険サービスを提供する事業所について、指定や変更に係る受付事務を行っています。

介護保険サービス指定事業所数（松阪保健所管内県指定分）

（平成31年3月31日現在）

サービス種別		松阪市	多気町	明和町	大台町	計
居宅サービス	訪問介護	80	7	9	5	101
	訪問入浴介護	1	1			2
	訪問看護	10	1	3	2	16
	訪問リハビリテーション	4	2	1	1	8
	居宅療養管理指導	1				1
	通所介護	53	5	12	4	74
	通所リハビリテーション	12	2	2	2	18
	福祉用具貸与	18	3	3	1	25
	特定福祉用具販売	18	3	2	1	24
	短期入所生活介護	23	2	4	3	32
	短期入所療養介護	8	2	1	2	13
	特定施設入居者生活介護	7		1		8
	小計	235	28	38	21	322
	居宅介護支援	67	6	9	9	91
計	302	34	47	30	413	
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	1	1			2
	介護予防訪問看護	9	1	3	2	15
	介護予防訪問リハビリテーション	4	2	1	1	8
	介護予防居宅療養管理指導	1				1
	介護予防通所リハビリテーション	12	2	1	2	17
	介護予防福祉用具貸与	18	3	3	1	25
	特定介護予防福祉用具販売	18	3	2	1	24
	介護予防短期入所生活介護	23	2	4	3	32
	介護予防短期入所療養介護	8	2	1	2	13
	介護予防特定施設入居者生活介護	6		1		7
	計	100	16	16	12	144
合計	402	50	63	42	557	

※みなし指定事業者、地域密着型サービス事業者は除きます。

施策 : 122 介護の基盤整備と人材の育成・確保
 基本事業 : 12203 介護基盤の整備促進

(主担当 総務企画課)

主な取組内容

・施設での介護サービスを必要とする高齢者が、円滑に施設入所できるよう特別養護老人ホーム等の介護基盤の整備を支援します。

1 老人福祉施設の整備状況（松阪保健所管内分）

(平成31年3月31日現在)

市町名 区分		松阪市		多気町		明和町		大台町		計	
		件数	定員	件数	定員	件数	定員	件数	定員	件数	定員
介護 保 険 法	介護老人福祉施設(特養) ※	18	834	4	178	4	189	2	100	28	1301
	介護老人保健施設(老健)	6	634	2	200	1	100	2	100	11	1034
	介護療養型医療施設	2	34							2	34
	計	26	1502	6	378	5	289	4	200	41	2369
老 人 福 祉 法	養護老人ホーム	2	100					1	50	3	150
	軽費老人ホーム(ケアハウス含む)	7	280							7	280
	有料老人ホーム	23	750			4	133	1	12	28	895
	老人福祉センター	2	—			1	—			3	—
	老人介護支援センター	5	—	2	—	1	—	1	—	9	—
	計	39	1130	2	—	6	133	3	62	50	1325
合 計		65	2632	8	378	11	422	7	262	91	3694

※ 地域密着型を含みます。

施策	: 124	こころと身体の健康対策の推進
基本事業	: 12401	健康づくり・生活習慣病予防活動の推進 (主担当 健康増進課)

主な取組内容

・ 県民の皆様、NPO、企業、学校、市町等と連携して、個人の適正な生活習慣が定着するための活動を支援し、県民一人ひとりの生活習慣の改善を推進します。

1 健康づくりの推進

(1) 健康づくり活動の推進

- ・ 全ての地域住民の健康づくりを推進します。
- ・ 健康であることを実感できる地域住民の増加をめざします。
- ・ 生活習慣病の多くは、日頃の生活習慣の影響も考えられるため、健康な時から心身ともより一層健康な状態に近づけるよう予防が大切であり、生活習慣病予防の啓発を行っていきます。
- ・ 生涯を通じて健康な生活を送ることができるよう、企業や市町等と連携し、ライフステージに応じた健康支援を行います。働く世代における地域保健と職域保健の連携、ソーシャルキャピタルをはじめとした社会資源の有効活用など、健康づくりの情報を共有しながらライフステージに応じた地域の取組を進めます。
- ・ 地域住民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくりのきっかけを提供し、その継続を支援し、自らの健康づくりに積極的に取り組む地域住民の増加をめざします。

ア 松阪地区地域・職域連携推進事業

生活習慣病を予防するためには、一人一人が自ら健康づくりに取り組むとともに、健康教育や健康相談、健康診査などの保健事業による生涯を通じた支援が必要です。

そのため、地域保健と職域保健との連携により、働く世代の松阪地区固有の健康課題を共有し、地域特性を活かした健康課題の解決を目指し、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸のための懇話会を行いました。(委員数 16名)

松阪地区地域・職域連携推進懇話会

日 時 平成30年10月4日 13時30分～15時
場 所 松阪庁舎大会議室
出席者 13名

松阪地区地域・職域連携推進講演会

日 時 平成30年10月4日 15時～16時
場 所 松阪庁舎大会議室
内 容 講演 「肺、おさむに訊け！」
講師 松阪市民病院 副院長兼呼吸器センター長 畑地治 先生
参加者 18名

イ 三重とこわか健康マイレージ事業

県民の皆さんが生涯にわたり長く健康で生活できるよう、市町や企業とともに社会全体で健康づくりを応援する環境づくりに取り組みます。

健康づくりに取り組む県民の皆さんに様々な特典を提供していただける「マイレージ特典協力店」および県民の皆さんに健康づくりを行う機会を提供していただける「マイレージ取組協力事業所」への参加を呼びかるため、商工会議所、商工会、商店街連合会、食品衛生協

会の総会や企業の会議に出席し事業説明を実施、また各店舗へ訪問し事業説明を実施のうえ案内パンフレットを配布しました。

(ア) パンフレット配布枚数 2619枚

(イ) 管内マイレージ特典協力店数、マイレージ取組協力事業所数

	松阪市	多気町	明和町	大台町
マイレージ特典協力店	84	7	19	5
マイレージ取組協力事業所	1	2	1	1

ウ ヘルピー協働隊

ヘルピー協働隊は、「三重の健康づくり総合計画ヘルシーピープルみえ・21」を推進する目的で、平成14年に活動に賛同する有志の団体集まりとして立ち上がりました。

平成25年度からは「三重の健康づくり基本計画ヘルシーピープルみえ・21」を引き続き推進しています。地域における健康づくりを推進するという共通目標のもと、協働して活動しています。

(参加団体数 59団体)

(ア) ヘルピー協働隊の集い

ヘルピー協働隊メンバー同士の協働活動がより効果的に行われることを目的として、情報提供および情報交換の場を提供しました。

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H30. 10. 4	松阪庁舎 大会議室	松阪地区地域・職域連携推進懇話会にて、健康に関する情報提供を行いました。	14名
H30. 10. 31	松阪庁舎 大会議室	自殺予防研修会にて、こころの健康に関する情報提供および情報交換を行いました。	34名

(イ) ヘルピーおでかけ隊

ヘルピー協働隊のメンバーがそれぞれの活動場面に外向き、それぞれの健康づくり活動を応援しあうことを目的として実施しました。

開催日	イベント名	テーマ	協働先
H30. 6. 10	歯と口腔の健康まつり	感染症予防（手洗い実習）・ヘルピー普及啓発（栄養・たばこ・歯・がん等）	松阪地区歯科医師会、松阪市
H30. 7. 7	松阪市健康センターはるる一周年&食育講演会	食育啓発（手洗い実習、野菜摂取バランス食）	松阪市
H30. 9. 9	松阪市健康フェスティバル	感染症予防（H I V・結核）・ヘルピー普及啓発（栄養・自殺予防）	松阪市
H30. 10. 11	コープみえ商品・くらしの活動交流会	ヘルピー普及啓発（栄養・自殺予防）	コープみえ

(ウ) ヘルピー協働隊通信（メールマガジン）

健康に関する最新情報をメールマガジンにより発信しました。（年12回）

(2) 健康食育推進事業

ア 野菜フル 350 推進事業

県民の食生活の現状は、全ての年代で野菜摂取不足となっています。県民が健康的な食生活を実践できるよう 1 日の野菜摂取目標量を 350 g とし、協働イベントにより普及・啓発をすすめました。

(ア) 各関係機関との協働イベント (4 回)

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H30. 6. 10	松阪子ども支援研究センター・体育館	歯と口腔の健康まつり	1 0 0 名
H30. 7. 7	松阪市健康センターはるる	松阪市健康センターはるる一周年記念イベント&食育講演会	2 0 0 名
H30. 9. 9	クラギ文化ホール	松阪市健康フェスティバル	3 5 0 名
H30. 10. 11	華王殿	コープみえ・くらしの活動交流会	1 2 0 名

イ 健康づくり応援の店

健康に配慮した食事や健康づくりに関する適切な情報を提供する飲食店「健康づくり応援の店」登録店 2 4 店舗に健康情報を提供するとともに情報発信を行いました。

(3) 栄養施行事務

ア 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、給食施設の栄養管理等に関する指導支援を実施するとともに、災害時等非常時の食料備蓄や対応について重点的に確認を行いました。

また、給食関係者の資質向上を目指した研修会を開催しました

(ア) 給食施設巡回指導

	管内給食施設数	指導数
① 知事指定施設	5	1
② ①以外の特定給食施設 (※学校再掲)	9 6 (4 0)	6 (0)
③ 一般給食施設 (※学校再掲)	8 3 (2 0)	2 (0)
計	1 8 4 (6 0)	9 (0)

(イ) 給食施設従事者研修会

給食施設従事者の資質向上を図ることを目的に実施しました。

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H30. 8. 1	松阪庁舎 大会議室	<p>情報提供「介護報酬改定について～施設でもできる嚥下調整食と学会分類の活用」</p> <p>提供者 特別養護老人ホームやまびこ荘 管理栄養士 原田 信吾 氏</p> <p>講演「嚥下調整食分類について～病院、施設、在宅の連携を図るために～」</p> <p>講師 鈴鹿中央総合病院 栄養管理科長 中原さおり 氏</p> <p>グループワーク「個別栄養管理と嚥下調整食分類について～施設間の認識の標準化を目指してワイワイ情報交換～」</p>	49名

イ 人材育成・支援事業

(ア) 市町栄養士支援

市町栄養士の資質向上と栄養改善施策の充実を目指し、必要に応じて助言・指導を実施しました。

連絡調整会議

回数	延参加者数
1回	7名

(イ) 地区組織育成支援

食生活改善推進連絡協議会との協創による健康的な社会環境づくりを推進するため、ソーシャルキャピタルの資質向上を図ることを目的に実施しました。

研修会支援

回数	延会員数
12回	244名

(ウ) 地域活動栄養士活動支援

定例会にて、最新栄養情報、研修に関する情報提供等を実施しました。

活動支援

回数	延会員数
7回	57名

ウ 栄養指導実施状況

	妊産婦	乳幼児	20歳未満	20歳以上
個別指導(延人員)	0	0	0	1

エ 虚偽誇大広告等栄養表示相談・指導状況

健康増進法に基づき虚偽誇大広告の禁止、食品表示法に基づき食品表示の保健事項（栄養成分表示）にかかる相談・指導を行いました。

(ア) 虚偽誇大指導状況 0件

(イ) 食品表示法（保健事項）指導状況 37件

オ 地域栄養管理ネットワーク研究会

地域住民の各ライフステージにおいて、食生活指導や栄養管理を担う各職域の管理栄養士・栄養士が情報交換や資質向上を図り、職域を超えた連携により地域の健康づくりに取り組むことを目的に実施しました。

(ア) 委員会部会

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H30. 4. 25	松阪庁舎 衛生教育室	<ul style="list-style-type: none"> ・施設別早見表の様式の検討及び情報の更新について ・栄養情報提供書について ・今後の取組予定について 	4名
H30. 8. 1	松阪庁舎 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・施設別食形態早見表の改訂作業について ・今後の取り組み予定について 	4名

施策 : 124 ところと身体の健康対策の推進
 基本事業 : 12403 ところの健康づくりの推進

(主担当 健康増進課)

主な取組内容

・県民一人ひとりの健康を保ち、健やかに生活できるよう、うつ・自殺対策を推進します。

1 自殺対策

(1) 地域自殺対策緊急強化事業

地域住民ひとりひとりが自殺予防を含めたところの健康問題への正しい知識をもち、理解を深め、地域の絆を生かすことにより、人とひとのつながりをさらに強化し、誰も自殺に追い込まれることのない地域づくりを目指す。

ア 松阪地域自殺・うつ対策ネットワーク会議の開催

日時 平成30年10月31日(水) 13:30~14:30

場所 松阪庁舎 大会議室

出席者 29名

イ 自殺予防研修会

日時 平成30年10月31日(水) 14:30~16:30

場所 松阪庁舎 大会議室

内容 講演「大規模災害における支援者のところ構え」

参加者 34名

ウ 自殺予防の普及啓発事業

(1) 自殺予防週間における啓発

日時・場所	啓発場所	イベント名	内容	啓発者数
H30.9.9	松阪市クラギ文化ホール	松阪市健康フェスティバル	啓発ブース設置(啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	350名
H30.9.10	JR松阪駅 近鉄松阪駅 近鉄伊勢中川駅	自殺予防週間	駅前 で 街頭啓発実施(啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	1,364名
H30.9.10~ H30.9.16	松阪庁舎内	自殺予防週間	庁舎内 で 自殺予防週間啓発物展示(啓発用ティッシュ・チラシ等配布)、幟旗 の 設置	—

(2) 自殺対策強化月間における啓発

日時・場所	啓発場所	イベント名	内容	啓発者数
H31.3.1	JR松阪駅 近鉄松阪駅 近鉄伊勢中川駅	自殺対策強化月間	駅前 で 街頭啓発実施(啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	1,200名
H31.3.1~ H31.3.31	松阪庁舎内	自殺対策強化月間	庁舎内 で 自殺予防週間啓発物展示(啓発用	—

			ティッシュ・チラシ等 配布)、幟旗の設置
--	--	--	-------------------------

(3) その他イベント等による啓発

日時・場所	啓発場所	イベント名	内容	啓発者数
H30. 6. 10	松阪市クラギ文化ホール	歯と口腔の健康まつり	啓発ブース設置 (啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	100名
H30. 10. 11	華王殿	コープみえ商品・くらしの活動交流会	啓発ブース設置 (啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	120名

(4) ホームページ等による情報発信

(ア) 街頭啓発やイベントによる啓発

こころの健康づくりや自殺予防に関する普及啓発を、自殺予防週間及び自殺対策強化月間、イベントに合わせて実施しました。

日時・場所	啓発場所	イベント名	内容	啓発者数
H30. 6. 10	松阪市クラギ文化ホール	歯と口腔の健康まつり	啓発ブース設置 (啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	100名
H30. 9. 9	松阪市クラギ文化ホール	松阪市健康フェスティバル	啓発ブース設置 (啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	350名
H30. 9. 10	JR松阪駅 近鉄松阪駅 近鉄伊勢中川駅	自殺予防週間	駅前街頭啓発実施 (啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	1,364名
H30. 9. 10～ H30. 9. 16	松阪庁舎内	自殺予防週間	庁舎内で自殺予防週間啓発物展示 (啓発用ティッシュ・チラシ等配布)、幟旗の設置	—
H30. 10. 11	華王殿	コープみえ商品・くらしの活動交流会	啓発ブース設置 (啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	120名
H31. 3. 1	JR松阪駅 近鉄松阪駅 近鉄伊勢中川駅	自殺対策強化月間	駅前街頭啓発実施 (啓発用ティッシュ・チラシ等配布)	1,200名
H31. 3. 1～ H31. 3. 31	松阪庁舎内	自殺対策強化月間	庁舎内で自殺予防週間啓発物展示 (啓発用ティッシュ・チラシ等配布)、幟旗の設置	—

(イ) 松阪保健所ホームページへの掲載

- ①自殺予防週間について
- ②自殺対策強化月間について

(ウ) ヘルパー協働隊通信への記事掲載

- ①自殺予防研修会
- ②自殺予防週間
- ③自殺対策強化月間
- ④こころの県民公開講座 記事掲載 計4回

施策 : 124 ところと身体健康対策の推進
 基本事業 : 12404 難病対策の推進 (主担当 地域保健課・総務企画課)

主な取組内容

・難病患者や家族に対して、療養上の不安を解消できる場の提供や、地域支援者が難病について正しく理解をすることで、難病患者が適切な医療提供・療養支援を受けることができるような体制整備を図ります。

1 特定医療費（指定難病）等医療費助成状況

希少で原因不明、治療法未確立であり、長期にわたる治療が必要な難病患者を支援するため、平成27年1月1日から施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づく特定医療費と、特定疾患治療研究事業に基づく特定疾患医療の受給者申請により、厚生労働省が定める認定基準を満たした方に受給者証を交付しています。

平成31年3月末現在 受給者数

番号	疾病名	松阪市	多気町	明和町	大台町	合計	番号	疾病名	松阪市	多気町	明和町	大台町	合計
1	球脊髄性筋萎縮症	3	0	1	0	4	70	広範脊柱管狭窄症	9	0	1	0	10
2	筋萎縮性側索硬化症	8	0	2	0	10	71	特発性大腿骨頭壊死症	16	1	1	1	19
3	脊髄性筋萎縮症	1	0	0	0	1	72	下垂体性ADH分泌異常症	9	0	0	0	9
4	原発性側索硬化症	0	0	0	1	1	74	下垂体性PRL分泌亢進症	4	0	1	0	5
5	進行性核上性麻痺	12	2	2	1	17	75	クッシング病	1	0	0	1	2
6	パーキンソン病	173	17	25	7	222	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5	0	2	0	7
7	大脳皮質基底核変性症	8	0	1	2	11	78	下垂体前葉機能低下症	15	0	4	0	19
8	ハンチントン病	1	0	0	0	1	83	アジソン病	1	0	0	0	1
11	重症筋無力症	26	4	3	0	33	84	サルコイドーシス	15	3	2	1	21
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	26	1	3	2	32	85	特発性間質性肺炎	43	0	5	1	49
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	6	1	2	0	9	86	肺動脈性肺高血圧症	5	1	3	0	9
15	封入体筋炎	0	0	1	0	1	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6	0	0	0	6
17	多系統萎縮症	9	1	4	1	15	89	リンパ脈管筋腫症	2	0	0	0	2
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	37	2	1	1	41	90	網膜色素変性症	21	1	1	1	24
22	もやもや病	12	1	3	1	17	92	特発性門脈圧亢進症	1	0	1	0	2
23	プリオン病	1	0	0	0	1	93	原発性胆汁性胆管炎	32	3	9	2	46
26	HTLV-1関連脊髄症	0	0	1	1	2	94	原発性硬化性胆管炎	1	0	0	0	1
28	全身性アミロイドーシス	9	2	0	0	11	95	自己免疫性肝炎	7	0	0	1	8
30	遠位型ミオパチー	1	0	0	1	2	96	クローン病	50	2	7	2	61
34	神経線維腫症	2	1	0	0	3	97	潰瘍性大腸炎	152	13	32	7	204

35	天疱瘡	5	0	0	0	5	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0	1	1
37	膿疱性乾癬	6	0	2	1	9	107	若年性特発性関節炎	1	0	0	0	1
38	スティーブンス・ジョンソン症候群	2	0	0	0	2	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	1	0	0	0	1
40	高安動脈炎	4	0	1	0	5	113	筋ジストロフィー	6	0	2	0	8
42	結節性多発動脈炎	1	1	3	1	6	127	前頭側頭葉変性症	1	0	0	0	1
43	顕微鏡的多発血管炎	6	1	1	1	9	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	0	0	0	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	2	0	1	1	4	158	結節性硬化症	3	0	2	1	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	0	2	0	4	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	6	1	1	0	8
46	悪性関節リウマチ	10	0	1	0	11	167	マルファン症候群	1	0	0	0	1
47	バージャー病	2	0	1	0	3	171	ウィルソン病	1	0	1	0	2
49	全身性エリテマトーデス	80	10	10	4	104	209	完全大血管転位症	0	0	1	0	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	33	2	6	3	44	210	単心室症	1	0	0	0	1
51	全身性強皮症	48	3	4	4	59	215	ファロー四徴症	1	0	0	0	1
52	混合性結合組織病	12	0	4	2	18	220	急速進行性糸球体腎炎	1	0	0	0	1
53	シェーグレン症候群	5	1	3	2	11	221	抗糸球体基底膜腎炎	1	0	0	0	1
54	成人スチル病	3	1	0	0	4	222	一次性ネフローゼ症候群	9	0	2	0	11
55	再発性多発軟骨炎	3	0	2	0	5	224	紫斑病性腎炎	3	0	0	0	3
56	ベーチェット病	13	0	2	0	15	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	0	0	0	2
57	特発性拡張型心筋症	33	5	11	3	52	227	オスラー病	5	0	0	0	5
58	肥大型心筋症	9	0	5	1	15	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	0	0	0	1
60	再生不良性貧血	13	1	0	0	14	271	強直性脊椎炎	1	1	0	0	2
62	発作性夜間へモグロビン尿症	0	0	2	0	2	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	0	0	0	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	34	5	3	0	42	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	0	0	0	1
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	0	0	0	1	289	クロンカイト・カナダ症候群	0	0	0	1	1
65	原発性免疫不全症候群	3	0	0	0	3	296	胆道閉鎖症	0	1	0	0	1
66	IgA 腎症	9	0	0	1	10	300	IgG4関連疾患	6	0	1	0	7
67	多発性嚢胞腎	19	0	4	1	24	306	好酸球性副鼻腔炎	11	0	2	1	14
68	黄色靭帯骨化症	6	2	0	3	11	331	特発性多中心性キャツスルマン病	2	0	1	0	3
69	後縦靭帯骨化症	68	11	11	4	94		合計	1229	102	210	71	1612

※ 疾病番号がない疾病については、受給該当者なし

特定疾患治療研究事業受給者数 スモン 1名 (平成31年3月31日現在)

先天性血液凝固因子障害等治療研究事業受給者数 5名 (平成31年3月31日現在)

2 難病在宅ケア事業

難病患者・家族が必要なサービスを受けながら安心して地域で生活できることを目指し、地域で保健、医療、福祉を包括した在宅療養支援体制の推進を図ることを目的としています。

(1) 個別ケアの実施

- ア 要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上及び療養上の相談について、患者等のプライバシーに配慮しつつ、関係機関と連携を図り、個別の相談、指導、助言を行っています。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
訪問相談	4 3	4 4	5 7
来所相談	9 8	7 8	8 6
電話相談	1 8 4	9 7	6 2

イ 在宅療養支援計画策定、評価事業

要支援難病患者に対し、個々の実態に応じて、きめ細かな支援を行うため、在宅療養支援計画を作成し、適切なサービスの提供を行っています。また、適宜、評価を行い、関係機関等と相互に連携し、支援体制の整備を図っています。

在宅療養支援計画策定：12名

(2) 医療相談事業

目的： 神経難病の多くは進行性であり、多くの疾患が有効な治療法も少なく、徐々にいろいろな身体機能の障害をきたすといわれています。患者及び家族が、神経難病の療養上の注意点等を知り、在宅で安心して過ごせることをめざします。

日時： 平成30年10月25日（木）13：30～15：30

場所： 三重県松阪庁舎 6階大会議室

対象： 神経難病患者、家族

(球脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄性筋萎縮症、進行性核上性麻痺、パーキンソン病、重症筋無力症、多発性硬化症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、筋ジストロフィー)

参加者数： 患者8名、患者家族7名、関係者9名

講師・相談対応者： 花の丘病院 朝倉 敬博 言語聴覚士
小山 雄一 言語聴覚士
松阪地区歯科医師会 近田 紀子 歯科衛生士
松阪市障がい福祉課 前川 正明 担当監
前川 幸康 係長

内容： 講演、医療相談

ア 講演内容

- 「やってみよう。自宅でできるセルフ訓練～発声や飲み込む力に合わせて～」

講師：花の丘病院 朝倉 敬博 言語聴覚士

小山 雄一 言語聴覚士

- 「口腔ケアでお口の健康を保ちましょう

～誤嚥性肺炎の予防や食事を楽しむために～」

講師：松阪地区歯科医師会口腔ケアステーション 近田 紀子 歯科衛生士

イ 医療相談の内訳

リハビリ：1名

歯科：1名

福祉：1名

(3) 在宅療養支援体制の整備

ア みえ a l s の会への参加	1 回
イ 地域難病医療相談会への参加協力	1 回

3 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎に対して主に行われる核酸アナログ製剤治療及びC型ウイルス性肝炎に対して主に行われるインターフェロンフリー治療、どちらの肝炎に対しても行われるインターフェロン治療にかかる医療費を助成します。

核酸アナログ製剤治療	89名
インターフェロンフリー治療	16名
インターフェロン治療	0名
計	105名

※インターフェロンフリー治療が対象となつてからは、インターフェロン治療の申請はほぼない状況です。

4 原子爆弾被爆者健康管理

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳所持者に対する健康診断の実施及び被爆者のうち認定された者に対して、医療特別手当等の給付事務を行っています。

(1) 市町別被爆者健康手帳所持者 及び 各種手当受給状況

(平成 31 年 3 月末現在：人数)

区分 市町名	手帳 交付数	各種手当受給者数					
		医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当	家族介護 手当	介護手当 (重度)	葬祭料
松阪市	18	1	12				1
多気町							
明和町							
大台町	1		1				
合計	19	1	13				1

(2) 健康診断受診者状況

(平成 30 年度実績：受診人数)

区分 市町名	定期健康診断				申請による健康診断					
	第1回		第2回		健康診断		がん検診			
	一般	肝機能	一般	肝機能	一般	肝機能	胃 (直接)	肺 (X線)	大腸	多発性 骨髄腫
松阪市	10	10	5	5			1	1	1	
多気町										
明和町										
大台町										
合計	10	10	5	5			1	1	1	

政策 3 共生の福祉社会

施策	: 131 障がい者の自立と共生
基本事業	: 13101 障がい者の地域移行の推進と福祉サービスの充実
基本事業	: 13104 障がい者の相談支援体制の整備
	(主担当 総務企画課・地域保健課)

<p>主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしや日中活動の場を確保し、福祉施設入所者の地域移行を促進するとともに、生活全般にわたる障害福祉サービスの充実に取り組みます。 ・関係機関の連携など、障がい者のニーズに適切に対応した相談支援体制の整備に取り組みます。

1 障がい者（児）施設

(平成31年3月31日現在)

区分 市町名		障害者総合支援法					
		居宅介護	短期入所	生活介護	施設入所支援	自立訓練(生活訓練)、宿泊型自立訓練	就労継続支援A型
松阪市	個所数	52	7	18	3	2	7
	定員	—	25	380	125	32	115
多気町	個所数	5	2	1	2	0	0
	定員	—	8	10	80	0	0
明和町	個所数	2	2	2	0	0	2
	定員	—	10	40	0	0	30
大台町	個所数	2	1	0	0	0	0
	定員	—	空床型	0	0	0	0
計	個所数	61	12	21	5	2	9
	定員	—	43	430	205	32	145

区分 市町名		障害者総合支援法			児童福祉法		
		就労継続支援B型	共同生活援助	計画相談支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	医療型障害児入所支援
松阪市	個所数	25	29	14	10	20	0
	定員	443	175	—	145	220	0
多気町	個所数	4	2	3	0	0	0
	定員	65	12	—	0	0	0
明和町	個所数	4	2	3	2	3	1
	定員	95	14	—	15	25	8
大台町	個所数	1	0	2	0	1	0
	定員	18	0	—	0	10	0
計	個所数	34	33	22	12	24	1
	定員	621	201	—	160	255	8

2 障がい者の相談支援体制の整備

(1) 松阪・多気地域自立支援連絡協議会運営会議

松阪・多気地域の障がい者支援関係者を構成員とする、松阪・多気地域自立支援連絡協議会運営会議を開催し、地域の課題の共有、調整及び協議を行い、地域連携体制の強化を図ります。

開催回数 4回、

出席者延べ 59名（県、市町、事業所等）

(2) 松阪・多気地域自立支援連絡協議会 精神障がい者地域移行支援部会

精神科病院に入院した患者の退院動向把握や地域移行研修会の開催、新たな社会資源の開発等に取り組み、精神障がい者の地域移行・地域定着が図られるよう、関係機関連携の強化を図ります。

開催回数 年4回

参加延人数 84名

内容

(第1回) 情報提供・意見交換

(第2回) 病院職員と地域支援者の交流・意見交換会①

地域の社会資源紹介（DVD視聴）、意見交換

(第3回) 病院職員と地域支援者の交流・意見交換会②

地域の社会資源紹介（DVD視聴）、意見交換

(第4回) 入院患者動向・事例報告・意見交換・進捗状況の検討

施策 : 131 障がい者の自立と共生
基本事業 : 13105 精神障がい者の保健医療の確保
 (主担当 地域保健課)

主な取組内容

- 精神障がい者等の医療及び保護、相談支援を行い、精神障がい者とその家族が安心して暮らせる体制づくりに取り組みます。

1 精神医療対策の状況

(1) 精神障がい者の保護に関する取扱件数

ア 平成 30 年度通報等状況 (件数)

種別	区分	申請・通報 件数	診 察 件 数	結 果	
				措 置 要	措置不要
法第 22 条		0	0	0	0
法第 23 条		15	12	7	5
その他		0	0	0	0
合 計		15	12	7	5

イ 年度別通報等推移 (件数)

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
15	22	18	15	15

(2) 自立支援医療費 (精神通院医療) 事業

精神疾患 (てんかんも含む) の治療のために、指定医療機関に通院している方を対象に、通院医療費の 9 割までを公費で負担しています。(一定の要件により毎月の上限額設定あり)

ア 平成 30 年度受給者数 (人)

H31.3.31 現在

受給者数(計)	松阪市	多気町	明和町	大台町
2,925	2,344	195	289	97

イ 年度別受給者数推移 (件数)

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
2,509	2,601	2,703	2,780	2,925

2 精神保健福祉対策

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付事業

精神障がい者の社会復帰・社会参加の促進を図ることを目的に各種サービスが提供されるよう精神障害者保健福祉手帳を交付しています。手帳所持者には、等級に応じて税制上の優遇措置や交通費 (バス) 運賃割引等の優遇措置があります。

ア 平成 30 年度受給者数 (人)

H31.3.31 現在

	所持者数 (計)	松阪市	多気町	明和町	大台町
1 級	8 4	6 8	4	1 2	0
2 級	9 7 9	8 4 5	3 5	6 8	3 1
3 級	4 1 6	3 3 1	2 2	5 0	1 3
合計	1, 4 7 9	1, 2 4 4	6 1	1 3 0	4 4

イ 年度別受給者数推移 (件数)

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
1, 1 7 2	1, 2 3 9	1, 3 1 2	1, 3 6 7	1, 4 7 9

(2) 精神障がい者保健福祉相談指導事業

精神障がいに対する正しい知識の普及啓発、地域における支援者の人材育成、関係機関の連携強化等によって、地域の精神保健福祉のネットワークの充実を図ります。また、相談、訪問等により、精神障がい者やその家族の地域生活を支援しています。

ア こころの健康相談

専門医及び保健師による定期相談 回数年 8 回 (相談延件数 1 3 件)

イ 相談及び訪問指導

H31.3.31 現在

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
訪問相談	7 6	7 9	1 3 3	1 0 3	1 7 4
来所相談	4 4	8 2	8 7	1 0 7	1 1 7
電話相談	3 3 3	5 2 1	1, 0 0 8	8 8 4	1, 1 5 7

ウ 精神保健福祉連絡会 (こころ元気会)

関係機関との連携を強化し、精神障がい者に対する地域ケアの充実をはかることを目的に連絡会を実施しています。

開催回数 年 4 回

参加延人数 1 4 3 名

内容 (第 1 回) 各関係機関事業紹介、意見交換

話題提供「精神障がい者の退院後支援を考える」

(第 2 回) 研修会 (病院見学会、意見交換)

精神科病院見学研修 ～精神科病院での支援の実際～

(第 3 回) 研修会 (事例検討)

「困難事例の検討」～本人・家族・地域への働きかけ～

(第 4 回) 危機対応の現状報告及び意見交換

エ 地域家族会支援

家族や当事者の、精神保健福祉の知識や理解を深めるために研修等を実施しています。

* 地域家族会総会への出席

* 家族会勉強会

内容 講演「この怒りなんとかならないの！！

～今日から始めるイラッ！ムカッ！ブチッ！の対処法～」

参加人数 4 4 名

3 精神保健福祉体制の整備

管内の精神保健福祉対策の推進にむけて、市町・関係機関と連携し体制整備を図っています。

ケア会議の主催・参加	40回
措置入院患者等退院後支援ミーティングの主催・参加	8回
医療観察法によるケア会議への出席	2回
地域連携のための会議（地域包括支援センター主催）	2回
多気町ケース検討部会への参加	3回
圏域自立支援連絡協議会（運営会議）への出席	3回
認知症疾患医療連携会議への参加（総務企画課）	2回
三重断酒新生会 松阪ブロック 総会への出席	1回
三重県精神保健福祉会家族研修会（講師）	1回
松阪市民生委員児童委員協議会連合会（講師）	1回
大台町保健師等勉強会「記録の書き方」研修（講師）	1回

施策 : 132 支え合いの福祉社会づくり
基本事業 : 13203 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進
(主担当 総務企画課)

主な取組内容

・歩行が困難な方の外出を支援し社会参加を促進するため、「三重おもいやり駐車場利用証制度」を推進します。

1 三重おもいやり駐車場利用証制度

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

おもいやり駐車場区画数	交付者数
523 区画	7,705人

政策 4 暮らしの安全を守る

施策	: 144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等
基本事業	: 14401 薬物乱用防止対策の推進
	(主担当 衛生指導課)

主な取組内容

・学校における薬物乱用防止教室、県民対象の講習会等のほか、『ダメ。ゼッタイ。』普及運動等の啓発活動による「未然防止」、薬物乱用者とその家族に対する支援を中心とした「再乱用防止」、及び関係機関が連携した「取締」の3つの対策により、薬物を許さない社会環境づくりに取り組めます。

1 未然防止事業

(1) 啓発活動の推進

県が委嘱した薬物乱用防止指導員（保護司、学校薬剤師等）と協力し、主要駅周辺、イベント会場等での街頭啓発を実施しています。また、学校から啓発用ポスターを募集し、入賞作品をショッピングセンターで展示することで、県民の薬物乱用防止への意識を喚起するほか、県民へ薬物の危険性を講習会等で語り伝える取組みを進めています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分	回数	備考
街頭啓発	4 (3)	・『ダメ。ゼッタイ。』普及運動（6月20日～7月19日） 6月29日 松阪駅前 ・麻薬・覚醒剤乱用防止運動（10月1日～11月30日） 10月28日 社会を明るくする運動市民集会 11月3日 氏郷まつり会場 ・その他 9月9日 健康フェスティバル
ポスター	2 (2)	・不正大麻・けし撲滅運動ポスターの配布・掲示 ・薬物乱用防止ポスター入賞作品の展示 11月3日～11月5日 松阪ショッピングセンターマーム
講習会	8 (9)	・薬物乱用講習等

(2) 取締りの強化・厳正な処分等

病院、薬局等の立入検査を行うことにより、麻薬等の適正な取扱管理を確認するほか、地域の警察署や薬物乱用防止指導員等と協力することで、宅地、畑地等に自生する不正大麻・けしの発見及び除去を行っています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分	箇所数	除去本数	備考
不正大麻	0 (0)	0 (0)	
不正けし	112(90)	13,534 (8501)	

※ 病院、薬局等の立入検査は、基本事業：14403 医薬品等の安全な製造・供給の確保をご覧ください。

2 再乱用防止事業

(1) 薬物相談窓口の開設

常設の相談窓口の開設によって、薬物乱用者又はその家族からの電話等による相談に応じています。また、こころの健康センター等によるネットワークを活用し、薬物乱用者、薬物事犯で検挙された青少年等の社会復帰も支援しています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分	相談件数	備考
電話	2 (0)	

来所	0 (0)	
----	-------	--

(2) 地域依存症ネットワーク会議への参加

こころの健康センターが主催する松阪地域依存症ネットワーク会議（NPO 法人三重ダルクとの協働委託事業）へ参加することによって、関係機関と円滑な連携を図ることができるように、定期的な情報の交換又は共有を行っています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	参加者数	備考
会議	1 (1)	・参加機関 障害者相談支援事業所、市町、精神科病院、警察署、津保護観察所、保護司会、三重県地域生活定着支援センター、県福祉事務所、保健所

3 取締事業

○ 危険ドラッグ販売店舗の把握及び立入検査

危険ドラッグの販売は、インターネットを介した取引が主流であることから、ウェブサイト上の定期的な監視を実施するほか、県警察本部等の取締機関と連携し、情報収集を行うことで店舗の把握に努めており、疑わしい店舗には立入検査を実施しています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	実施回数	備考
ネット監視	2 (2)	

施策 : 144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等
 基本事業 : 14402 人と動物との共生環境づくり

(主担当 衛生指導課)

主な取組内容

・動物愛護教室等による普及啓発活動に加え、動物の適正飼養の推進等の取組を三重県動物愛護推進センター（以下「あすまいる」という。）と連携することで強化します。また、動物による危害発生の防止にも取り組みます。

※ 三重県動物愛護管理推進実施計画をベース

1 動物愛護管理の普及啓発

(1) 動物愛護教室等の実施

小学生等を対象にして、命の大切さを学ぶ動物愛護教室をあすまいると協力して実施することにより、動物愛護への意識が育まれるように取り組んでいます。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分	回数	備考
小学校	1 (3)	松阪市内小学校（11月29日、65名）
その他	4 (2)	・松阪保健所内で実施 中学生（8月8日、5名） 薬学生・獣医師学生（3回）

(2) 動物愛護関係行事の実施

小、中学生から動物愛護に関する絵及びポスターを募集し、入賞作品をショッピングセンター等で展示することで、県民の動物の愛護及び適正飼養への理解と関心を深める機会の提供に取り組んでいます。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分	回数	備考
ポスター展示	1 (1)	・動物愛護ポスター入賞作品の展示 11月8日～13日 松阪ショッピングセンターマーム

2 適正飼養の推進

○ 適正（終生）飼養及び譲渡の推進

犬及び猫の所有者への適正（終生）飼養の啓発を行うほか、拾得者等から引取り又は負傷で収容した犬及び猫に関しては、所有者を発見し、速やかに返還できるように努めています。また、所有者がいないと推測される、又は所有者の発見ができないときには、あすまいる、ボランティア団体等と協力し、新たな飼い主への譲渡を進め、殺処分頭数ゼロに向けて取り組んでいます。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分	引取り・収容頭数	返還頭数	処分頭数	
			譲渡対象	その他
犬	58 (61)	36 (42)	18(15)	4(4)
猫	61 (37)	1(5)	40(26)	20(6)

3 動物による危害や迷惑問題の防止

(1) 家庭動物等による危害及び迷惑の防止

けい留されていない犬の保護のほか、家庭動物等の飼養に関する苦情及び相談に的確に対応できるように努めています。また、飼い犬が人を咬む事故が発生したときには、

飼い主に対して適切な指導、危害防止に必要な措置等を講じることにより、危害の再発防止にも取り組んでいます。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分	件数	備考
照会	1782 (1846)	・犬又は猫の失踪照会又は譲渡、動物取扱業の手続等
モラル苦情	203 (141)	・犬又は猫の放し飼い、糞尿苦情、鳴き声苦情等
その他苦情	322 (381)	・犬又は猫の保護、犬による咬傷事故等

(2) 飼い主のいない猫対策

あすまいるとの協力によって、飼い主のいない猫を対象に不妊又は去勢を施すほか、飼い主のいない猫を新たに生み出さず、これらを地域で管理していく方法等を助言することにより、猫による迷惑行為、糞尿被害等の問題解決の支援に取り組んでいます。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	実施地域数	処置頭数	備考
飼い主のいない猫の不妊・去勢の手術	9 (3)	89 (78)	・松阪市内 8 地域、大台町内 1 地域

(3) 特定動物による人への危害防止

特定動物（人の生命、身体又は財産に害を加えるおそれがある動物）は、適正な施設、方法で飼養等がなされ、飼養が困難な場合の措置を講じることができる体制を確保しておく必要があり、それらの確認を行うために監視指導を実施しています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	施設数	監視数	備考
特定動物飼養許可	7 (8)	9(11)	・ニホンザル、ヒマラヤグマ、カラカル等

4 動物取扱業の適正化

(1) 動物取扱業への監視指導

動物取扱業者（動物の販売、保管、貸出し、訓練、展示等を業として行う者）に対して、動物の管理の方法等を確認するために監視指導を実施しています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	施設数	監視数	備考
第一種動物取扱業	96 (98)	29 (24)	・営利目的の動物取扱業
第二種動物取扱業	3(3)	2 (1)	・非営利目的の動物取扱業

(2) 動物取扱業者による適正な動物の取扱いの促進

事業所の動物取扱責任者に選任された者が業務を適正に実施するために、その業務に必要な知識及び能力に関する研修を実施しています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	回数	参加者数	備考
研修会	1(1)	89 (79)	・動物取扱責任者研修 9月25日 松阪庁舎 6階大会議室

施策 : 144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等
基本事業 : 14403 医薬品等の安全な製造・供給の確保
 (主担当 衛生指導課)

主な取組内容

・薬局、医薬品販売業等のほか、毒物劇物営業、麻薬業務等の薬事関係施設の監視指導を実施します。また、安全な血液製剤を確保するために献血、及び造血幹細胞移植の円滑かつ適正な実施に資することを目的に骨髄バンクドナー登録の推進に取り組みます。

1 医薬品等安全対策

(1) 医薬品等の製造販売、調剤又は販売を行う施設の監視指導

薬局、ドラッグストア、卸売販売営業所等における医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（旧薬事法）の遵守状況を確認するために監視指導を実施しています。

●平成30年度実績（括弧内は前年度）

区分	施設数	監視数	備考
薬局	100 (97)	76 (67)	-
医薬品販売業	81 (81)	42 (42)	・店舗販売、配置販売、卸売販売
医療機器	864 (856)	181 (172)	・高度管理又は特定保守管理、管理、一般
再生医療製品	1 (1)	1 (1)	-

(2) 毒物又は劇物の製造、販売等を行う施設の監視指導

ホームセンター、農業協同組合等における毒物及び劇物取締法の遵守状況を確認するために監視指導を実施しています。

●平成30年度実績（括弧内は前年度）

区分	施設数	監視数	備考
営業登録	118 (118)	38 (35)	・製造業、販売業（一般、農業、特定）等
業務上取扱届	2 (2)	1 (1)	・電気めっき、金属熱処理、しろあり防除等

(3) 麻薬、向精神薬等を取り扱う施設の監視指導

病院、診療所、歯科診療等における麻薬及び向精神薬取締法等の遵守状況を確認するために監視指導を実施しています。

●平成30年度実績（括弧内は前年度）

区分	施設数	監視数	備考
麻薬	163 (163)	90 (81)	・卸売、小売、診療施設、研究者
向精神薬	441 (439)	106 (92)	・卸売、薬局、診療施設、研究施設
覚醒剤原料	427 (425)	95 (78)	・取扱者、薬局、診療施設

2 献血の推進 ※三重県献血推進計画をベース

(1) 献血ページェント等の実施

県内の医療機関が使用する血液製剤に加えて、原料血漿を確保するために、市町及び三重県赤十字血液センターと連携することで献血の推進を図るほか、献血思想の普及、県民の献血への理解を深めるために、年間を通じてキャンペーンを展開することにより、目標献血者数の達成に向けて取り組んでいます。また、企業、団体等への訪問の実施によって、献血への協賛のほか、20歳代及び30歳代の献血促進に協力を求めています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	採血者	備考
400mL 献血	2607 (2667)	<ul style="list-style-type: none"> ・愛の血液助け合い運動（7月～8月） 2回 ・クリスマス献血キャンペーン（12月） 2回 ・はたちの献血キャンペーン（1月～2月） 3回 ・その他 8回

(2) 若年層等への献血啓発

将来の献血を担う若年層に対する普及啓発の一環として、高校生、大学生等をヤングミドナサポーターに委嘱することにより、街頭献血での啓発活動のほか、三重県赤十字血液センターの見学会、学生同士の意見交換の場となる高校生献血推進会議等の献血に関する理解を深める機会を提供しています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	委嘱者	備考
ヤングミドナサポーター	264 (87)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生 264 名 ※飯南高等学校、松阪商業高等学校、三重高等学校

3 骨髄バンクドナー登録の推進

(1) ドナー登録制度の啓発

ボランティア団体「勇気の会（三重県骨髄バンク推進連絡会議）」と連携し、献血のキャンペーンに合わせて、県民にドナー登録への理解を求めるほか、骨髄提供ドナー助成制度（管内では松阪市のみ）の活用の啓発に取り組んでいます。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	回数	備考
街頭啓発	11 (11)	

(2) ドナー登録窓口の開設

常設の保健所ドナー登録窓口（第1、3火曜日：完全予約制）に加えて、県民の利便性を高めるために、街頭献血会場で臨時窓口を積極的に設けることにより、ドナー登録のさらなる推進に取り組んでいます。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	開設回数	登録者数	備考
保健所窓口	1 (1)	1 (1)	
臨時窓口	11 (11)	78 (66)	

施策 : 144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等
 基本事業 : 14404 生活衛生営業の衛生確保

(主担当 衛生指導課)

主な取組内容

・生活衛生営業施設の監視指導、講習会等を行い、生活衛生営業施設の自主的な衛生管理の推進に取り組みます。

1 生活衛生関係営業の監視指導

○ 生活衛生関係営業施設の監視指導

営業施設において、法令、条例等で求められる衛生上の措置の状況を確認するために監視指導を実施しています。また、特に公衆浴場及び旅館業の営業者に対しては、浴場でのレジオネラ感染を防止するための対策を講じるように指導しています。

●平成 30 年度実績 (括弧内は前年度)

区分	施設数	監視数	備考
理容所	279 (280)	30 (40)	-
美容所	535 (535)	66 (53)	-
クリーニング ※	39(41)	5(5)	-
公衆浴場	33(34)	14 (11)	・普通、その他
旅館	108 (108)	37 (39)	・ホテル、旅館、簡易宿所、下宿
興行場	6(6)	1 (1)	・常設、仮設 (5 日以上又は 4 日以下)

※洗濯を行っている施設のみ計上

2 生活衛生関係営業の自主的な衛生管理の推進

○ 理容所及び理容所の衛生消毒の普及

理容所及び美容所の従事者等に対して、法令等で規定されている消毒の方法を周知徹底するために講習会等を実施しています。

●平成 30 年度実績 (括弧内は前年度)

内容	回数	対象者数	備考
講習会	6 (5)	199 (250)	・理容組合松阪支部 ・理容組合久居一志支部 ・美容組合松阪支部 ・その他

施策 : 145 食の安全・安心の確保
 基本事業 : 14501 食の安全・安心の確保

(主担当 衛生指導課)

主な取組内容

・食品関係施設の監視指導、食品の検査、食品表示の適合性確認等を実施するとともに、食品事業者の自主管理を促進に取り組みます。

※ 三重県食品監視指導計画をベース

1 施設の衛生監視と食品の検査に関する取組

(1) 食中毒発生による対応

下痢、嘔吐、発熱等の食中毒症状を呈する患者を診察した医師から届出を受けたとき、又はその他食中毒患者等が発生していると認めるときには、その原因となった食品等に加え、病因物質を追及するために必要な疫学的調査を行っています。

●平成 30 年度実績 (括弧内は前年度)

	事件数	備考
食中毒	1 (3)	・平成30年12月20日営業禁止処分 飲食店(松阪市)、有症者18名、ノロウイルス

(2) 食品事業者等の監視指導

食品の製造から販売に至る各段階において、危害発生リスクに応じた監視頻度を定め、食品等の衛生的な取扱いの監視を行うとともに、食品の温度管理が重要な夏期(6~8月頃)及び流通量が増加する年末(11~12月)に集中的な立入検査を行い、食中毒の発生を未然に防止するために取り組んでいます。

●平成 30 年度実績 (括弧内は前年度)

	施設数	監視数	備考
許可	4263 (4265)	1650 (1410)	・飲食店、菓子製造業、乳類販売業等
届出	1068 (1086)	460 (255)	・給食、食品製造業等

(3) 食品等の試験検査

流通食品を定期的に収去し、津保健所総合検査室又は保健環境研究所で検査することにより、不良、違反食品の流通防止を図るとともに、検査の結果を食品等事業者の衛生管理の向上に活用しています。

●平成 30 年度実績 (括弧内は前年度)

区分	検体数	備考
試験検査	198(201)	食品、保存食
規格基準違反	0 (0)	-
衛生管理指標 不適合	0(8)	-

2 自主管理の促進に関する取組

○ 食品取扱者の人材育成・資質向上

食品等事業者による自主的な衛生管理を促進するために、地域の食品衛生を推進する担い手となる食品衛生指導員及び営業施設の衛生管理を行う食品衛生責任者を養成し、その資質の向上に新たな知見を習得できる講習を定期的実施しています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分		回数	備考
食品衛生 責任者	養成講習	2(2)	・130名
	再講習	13(12)	・309名
食品衛生 指導員	養成講習	1(1)	・22名
	講習	1(1)	・98名

3 食品の適正表示に関する取組

(1) 食品表示に係る相談

食品の適正な表示により、消費者が摂取する際の安全性に加え、消費者による合理的な選択の機会を確保するために、食品関連事業者等からの相談に応じ、旧表示から食品表示法に基づく食品表示基準の新表示への円滑な移行を支援しています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分		相談数	備考
食品表示法	品質事項	62(63)	
	衛生事項	62(53)	
	保健事項	25(15)	
他法令		7(13)	

(2) 食品表示の監視指導

食品の表示が適正であることを確認するために、小売店、製造所等のほか、地方卸売市場、大型ショッピングセンター等の立入検査を実施しています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

	監視施設件数	指導施設件数	備考
食品等事業者	143(171)	5(5)	・生鮮食品 10 品、加工食品 27 品

4 食の安全・安心の相互理解に関する取組

(1) 食中毒予防情報等の発信

夏期（7月～9月）、食中毒の発生しやすい気象条件が見込まれるときに、食中毒警報を発令し、市町、三重県食品衛生協会、地方卸売市場等へ注意を喚起するほか、食品の取扱い等の予防措置に関する情報提供を行っています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

内容	発令回数	備考
警報	4(3)	-

(2) 消費者啓発

食品衛生月間（8月）での食中毒予防の啓発活動のほか、出前トーク等による消費者への正しい知識の普及、双方向の意見交換を交え、今後の施策への参考としています。

●平成 30 年度実績（括弧内は前年度）

区分	回数	対象者数	備考
街頭啓発	2(2)	多数	・平成 30 年 8 月 1 日 松阪ショッピングセンターマーム ・平成 30 年 8 月 2 日 イオン明和店
講習会	42(33)	748(1087)	

施策 : 146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
基本事業 : 14601 感染予防のための普及啓発の推進
 (主担当 健康増進課)

主な取組内容

・感染症予防に向けた啓発や発生に関する情報提供を行うことで、県民一人ひとりが感染症に対する正しい理解を深め、感染症の拡大防止につなげます。

1 感染症対策

感染症法に規定されている感染症の患者が発生した場合、患者が適切な医療を受けられるよう支援するとともに、まん延防止のための調査を実施し、二次感染防止のための検診及び指導を行います。

(1) 感染症患者発生数等

二類 (平成30年中)	新登録患者数	年末現在結核登録者総数
結核	18	53
潜在性結核感染症患者	5	13

三類 (平成30年中)		患者数	保菌者数	計
腸管出血性 大腸菌感染症	管内	7	4	11
	三重県※	32	19	51

※四日市市分も含む

五類 (平成30年中)	患者数
麻しん	0
風しん	7

(2) 感染症発生動向調査事業

ア インフルエンザ施設別 (学校等における集団かぜ) 発生状況動向調査

インフルエンザ流行時の小中学校での患者発生情報、各機関との連携措置、予防接種との関係等予防対策を図ります。

○インフルエンザによる休校 (園)・学年閉鎖・学級閉鎖件数 (平成30年度)

	休校 (園)	学年閉鎖	学級閉鎖
松阪市	0	28	53
多気町	0	5	1
明和町	0	5	10
大台町	0	3	0
県立高校	0	0	0
私立学校	0	1	2
合計	0	42	66

イ 三重県感染症発生動向調査事業

感染症の予防、まん延を防止することを目的に、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づくこの調査を実施することで、感染症の発生情報の正確な把握と分析をし、その結果を県民や医療機関への確かな情報提供・公開を行います。

○感染症サーベイランス定点医療機関数（松阪保健所管内）

17 定点：小児科 5、インフルエンザ 8、眼科 1、STD 2、基幹 1

ウ 三重県感染症発生動向調査事業病原体検査

三重県感染症発生動向調査事業の一環として、病原体検査が必要と判断した場合や病原体検査定点医療機関から病原体の検査依頼があった場合、三重県保健環境研究所等で検査を実施することで、流行状況の早期発見、早期治療に資するとともに、疾病の予防や診断等に役立つ情報を提供・公開を行います。

○病原体検査実施状況（平成 30 年度）

区 分	件数	結 果	
		検出	検出せず
A型肝炎	1	1	0
重症熱性血小板減少症候群	1	0	1
チクングニア熱	1	0	1
日本紅斑熱	2	2	0
レプトスピラ症	1	0	1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7	7	0
急性脳炎	1	1	0
侵襲性肺炎球菌	3	3	0
風しん	15	6	9
麻疹	17	2 *（麻疹 1 風しん 1）	15
インフルエンザ	4	4	0
合計	53	26	27

施策	: 146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
基本事業	: 14602 感染症危機管理体制の整備
	(主担当 健康増進課)

主な取組内容

- ・感染症等の重大な健康危機管理事例発生時に健康被害を最小に抑えるため、平常時から各関係機関との連携体制を確保するために、危機管理ネットワーク会議を開催します。
- ・社会的影響の大きい感染症に備え、各関係機関と連携した訓練等を行い、防疫体制の強化を図ります。

1 感染症危機管理対策

感染症等の重大な健康危機管理事例発生時に健康被害を最小に抑えるため、平常時から各関係機関との連携体制を確保するために、危機管理ネットワーク会議および健康危機管理訓練を実施しました。

(1) 感染症危機管理ネットワーク会議

実施年月日：平成30年10月11日（木）

実施場所：松阪庁舎

出席者：15名

内容：1. 感染症における情報提供
2. 多剤耐性アシネトバクターによる院内感染対応と感染対策について

(2) 健康危機管理訓練

実施年月日：平成30年8月2日（木）および平成30年11月14日（水）

実施場所：松阪地区広域消防組合本部および紀勢地区広域消防組合本部

出席者：26名

内容：PPE（個人防護具）着脱訓練

施策 : 146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
基本事業 : 14603 感染症対策のための相談・検査の推進
 (主担当 健康増進課)

主な取組内容

・結核やエイズ等に関する相談・検査を推進し、これらの感染症の蔓延を防止します。

1 結核対策

平成30年度の管内の結核登録患者数は平成29年度と比較し横ばいとなっていますが、経年的にみると減少傾向にあります。また、新登録患者をみると高齢者や外国人が多い状態が続いています。結核の蔓延防止のためには、発病した者が治療完遂できるよう支援することが重要であるため、DOTSの推進に努めています。また、一般住民だけでなく医療・福祉関係者等への啓発に努め、学校、職場等での集団発生を防止し、結核患者の早期発見、治療の徹底を図ります。

(1) 定期健康診断実施状況 (平成30年度)

一般住民はもとより医療関係者等への啓発に努め、学校、職場等での集団発生を防止し、結核患者の早期治療の徹底を図ります。

(2) 結核患者・家族指導 (平成30年度)

結核患者が適切な医療を受け、確実に治癒することを支援すること、及び家族や接触者の感染・発病の早期発見のための接触者健診等の指導を行い、感染防止に努めています。

種 別	延件数
家庭訪問	138
所内面接	66
電話相談	516

(3) 接触者健康診断実施状況 (平成30年度)

結核患者家族及び管理・定期外の検診を実施し、結核患者の早期発見に努めています。

区分	受診者数	X線直接撮影	QFT	ツ反応検査	BCG	喀痰	要 注 意 者 数	潜在性結核感染症	発見患者数
家 族	44	3	41	0	0	0	1	2	0
接 触 者	91	10	81	0	0	0	0	3	0
管理検診	25	25	0	0	0	0	0	—	0
合 計	160	38	122	0	0	0	1	5	0

(4) 結核登録患者状況 (平成30年中)

	30年末現在登録者数	活動性全結核患者数	有病率	新登録数	罹患率
松阪市	51	9	5.6	15	9.3
多気町	1	0	0	0	0

明和町	2	1	4.4	2	8.8
大台町	1	1	11.0	1	11.0
管内計	55	11	5.3	18	8.7
三重県(H29)	495	141	7.8	219	12.2

* 有病率：年末活動性結核患者数÷人口×10万

* 罹患率：人口10万人あたりの新登録結核患者数

(5) 結核医療事業

感染症診査会を開催し申請された医療の適正に努めます。

感染症法第37条の2関係（平成30年中）

区分	被用者保険		国保	後期 高齢者	生保	その他	合計
	本人	家族					
申請	8	2	3	11	0	2	26
合格	8	2	3	11	0	2	26
承認	8	2	3	11	0	2	26

感染症法第37条関係（平成30年中）

平成29年 12月末現在	新規数	解除数	平成30年 12月末現在
0	7	6	1

(6) 結核健康診断補助金

結核患者の早期発見と患者発生防止を図るため、学校、又は施設の長が行う定期的健康診断に要する費用の一部を補助金として交付する事で、設置者の負担を軽減し、定期健康診断の実施を促進します。

	学校長		社会福祉施設	合計
	専門学校	高校		
施設数	1	1	26	28
検診人員	42	563	1,146	1,751

(7) 結核対策特別促進事業

治療脱落例・治療失敗例をなくすため、直接服薬確認(DOTS)事業を推進しました。

- ・DOTSカンファレンスに5回参加し、患者支援について検討を行い、事業に生かしました。
- ・DOTSは25名を対象に実施し、確実な服薬の支援を行いました。

2 特定感染症検査等事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく「性感染症に関する特定感染症予防指針」に定められる性感染症に関する検査及び相談事業並びに感染症法に基づく「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」に定められるH I V抗体検査及びエイズに関する相談事業並びにウイルス性肝炎患者の重症化予防推進事業並びに風しん抗体検査事業を推進することにより、これらの感染症の発生の予防・まん延防止を図ります。

(1) H I V抗体検査及びエイズに関する相談事業

エイズに関する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談対応および検査希望者に対してH I V抗体検査を実施しました。

H I V・エイズ相談件数				H I V抗体検査件数	
電話		来所		男	女
男	女	男	女		
41	9	6	0	85	20

(2) 性感染症検査及び相談事業

性感染症に関する相談対応を行い、検査希望者に対して梅毒検査を実施しました。

性感染症相談件数				梅毒検査件数	
電話		来所		男	女
男	女	男	女		
14	3	6	0	85	20

(3) ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業

ウイルス性肝炎に関する相談対応を行い、保健所及び医療機関への委託によるB型肝炎・C型肝炎の無料検査等、受検者の利便性に配慮した肝炎ウイルス検査を実施しました。

	肝炎ウイルス相談件数				肝炎ウイルス検査件数			
	電話		来所		保健所		委託医療機関	
	男	女	男	女	男	女	男	女
B型肝炎検査	21	20	5	0	85	22	16	16
C型肝炎検査	23	19	5	0	85	22	16	16

(4) 風しん抗体検査事業

先天性風しん症候群の防止のため、妊娠を希望する女性等を対象に医療機関に委託し、風しん抗体検査を実施しました。

風しん抗体検査受診券発行件数 391 件

(5) 普及・啓発

エイズに関する正しい知識についての啓発活動を推進し、保健所が行うH I V抗体検査の受検及び相談の利用を促すことで、H I V感染の早期発見・早期治療につなげ、エイズまん延防止を図りました。

また、風しん及び麻しんの流行があったため、随時注意喚起を行いました。

ア) HIV検査普及週間（6月1日～6月7日）

開催日	啓発場所	内容	啓発人数
H30. 6. 10	松阪市クラギ文化ホール	歯と口腔の健康まつりにて啓発を行いました。	約 100 名
H30. 6. 1～ H30. 6. 7	松阪庁舎	保健所ロビーにて啓発コーナーを設置しました。	—
H30. 6. 1	ヘルピー協働隊通信	ヘルピー協働隊通信にて情報発信しました。	60 名

イ) 世界エイズデー（12月1日）

実施日	啓発場所	内容	啓発人数
H30. 12. 1	J R 松阪駅 近鉄松阪駅	J R 松阪駅、近鉄松阪駅構内で街頭啓発を実施、ポケットティッシュを配布しました。	約 400 名
H30. 11. 27 H30. 11. 28	管内高等学校(7) チャレンジスクール(1)	管内高等学校 7 校へ訪問、養護教諭へ啓発依頼を行い、ポケットティッシュ、パンフレット、啓発物品を配布しました。	—
H30. 11. 21～ H30. 11. 28	管内病院 (8) 管内診療所(19) 医師会 (1)	管内医療機関（泌尿器科、皮膚科、産婦人科）および医師会へ啓発依頼を行い、ポスターを配布しました。	—
H30. 11. 30～ H30. 12. 21	松阪庁舎	保健所ロビーにて啓発コーナーを設置しました。	—
H30. 11. 29	ヘルピー協働隊通信	ヘルピー協働隊通信にて情報発信しました。	60 名

ウ) 世界（日本）肝炎デー（7月28日）、肝臓週間（7月23日～7月29日）

実施日	啓発場所	内容	啓発人数
H30. 6. 29	ヘルピー協働隊通信	ヘルピー協働隊通信にて情報発信しました。	60 名

エ) 風しん抗体検査事業

実施日	啓発場所	内容	啓発人数
H30. 10. 30	ヘルピー協働隊通信	ヘルピー協働隊通信にて風しん流行にともなう注意喚起をしました。	60 名

オ) その他

日時	啓発場所	イベント名	内容	啓発者数
H30. 9. 9	松阪市クラギ文化ホール	松阪市健康フェスティバル	啓発ブースを設置し、エイズ及び風しんに関する啓発を行い、ポケットティッシュ、チラシの配布を行いました。	120 名
H30. 10. 11	華王殿	コープみえ商品・くらしの活動交流会	啓発ブースを設置し、エイズ及び風しんに関する啓発を行い、ポケットティッシュ、チラシの配布を行いました。	120 名

II 政策展開の基本方向「創る」～人と地域の夢や希望を実現できるために～

政策 3 希望がかなう少子化対策の推進

施策	: 232 結婚・妊娠・出産の支援
基本事業	: 23202 不妊に悩む家族への支援
	23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実
	(主担当 地域保健課・総務企画課)

主な取組内容

- ・特定不妊治療等に対する経済的支援や相談体制の充実に取り組みます。
- ・各市町が、妊娠・出産・育児における「地域の強みを生かした切れ目のない母子保健体制」を整備できるように人材育成、関係機関調整等、体制整備の支援を行います。

1 不妊に悩む家族への支援

特定不妊治療費助成用申請状況

(平成 30 年度)

申 請 数	2 2 4
承 認 数	2 2 3

2 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実

(1) 健やか親子支援事業

親子が健やかに育つ地域づくりを目指し、関係者を対象に研修会や連絡会を開催し、関係機関が連携し早期に支援が行えるよう体制を整備しています。

また、社会的、家庭的、身体的にリスクの高い児に対して、市町と連携して家庭訪問や相談を行い健やかな発育・発達を支援します。

ア 母子保健体制の整備

(ア) 管内母子保健担当者意見交換会

1回/年

日時：平成30年7月27日（金） 9：45～12：00

場所：県松阪庁舎 大会議室

参加者数：18名

内容：①妊娠期からの切れ目のない支援について（情報交換）

②子育て支援課から情報提供

③「新たに開設された済生会松阪総合病院 NICU について」

講師：済生会松阪総合病院 次長 越川由美子 氏

(イ) 松阪地域における周産期親子支援連絡会議

2回/年

○ 第1回

日時：平成30年10月12日（金） 18：00～20：00

場所：県松阪庁舎 大会議室

参加者数：33名

内容：講演「妊娠期の母体管理について」（ロールプレイを含む）

講師 三重県立看護大学看護学部看護学科 教授 大平肇子 氏

○ 第2回

日時：平成31年1月11日（金） 18：00～20：00

場所：県松阪庁舎 大会議室

参加者数：22名

内容：①事例検討会—妊娠期の母体管理支援についての実際—

②助言・講義

講義「—妊娠期の母体管理—」

助言者 三重県立看護大学看護学部看護学科 教授 大平肇子 氏

(ウ) 松阪地区医師会乳幼児健診部会への参加

5回/年

(うち事例提供1回)

イ 思春期の心身における保健対策の強化

(ア) 思春期相談

延べ 82件

ウ 児童虐待予防ケア

対象：児童、保護者、管内市町保健師 等

(ア) 対応困難な事例に関する相談支援

延べ 60件

エ 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

対象：小児慢性特定疾患児とその家族、ハイリスクケース 等

(ア) 相談及び訪問指導

H31.3.31 現在

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
訪問相談	23	38	27	17	36
来所相談	21	32	29	66	51
電話相談	53	29	32	77	74

(イ) 連絡調整会議 延べ 10回/年

(2) 小児慢性特定疾病対策事業

小児慢性特定疾病にかかっており、当該疾病の程度が一定程度以上ある児童等の保護者に対し、申請に基づき、医療に要する費用（小児慢性特定疾病医療費）を支援するための受給者証を発行します。

H31.3.31 現在

番号	疾患群	松阪市	多気町	明和町	大台町	合計
1	悪性新生物	13	3	0	3	19
2	慢性腎疾患	13	2	2	0	17
3	慢性呼吸器疾患	9	1	2	0	12
4	慢性心疾患	29	2	3	2	36
5	内分泌疾患	29	6	4	2	41
6	膠原病	5	0	2	0	7
7	糖尿病	8	0	2	1	11
8	先天性代謝異常	4	2	2	0	8
9	血液疾患	1	1	0	0	2
10	免疫疾患	0	0	0	0	0
11	神経、筋疾患	25	2	3	1	31
12	慢性消化器疾患	8	1	3	0	12
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	2	0	0	0	2

1 4	皮膚疾患群	2	0	0	0	2
1 5	骨系統疾患	0	0	0	0	0
1 6	脈管系疾患	0	0	0	0	0
合 計		1 4 8	2 0	2 3	9	2 0 0

